



誰もが輝くことができる創造力と潤いのあるまち・港区ベイエリア

MINATO CITY SHIBAURA-KONAN REGION



港区基本計画 MINATO CITY MASTER PLAN
SHIBAURA-KONAN REGIONAL MASTER PLAN
芝浦港南地区版計画書 令和3(2021)年度 ▶ 令和8(2026)年度

困難を乗り越え、 区民とともにまちを元気にする

区民に最も身近な行政である各総合支所は、区民、企業、大学、NPO、大使館など多様な主体と一丸となって、地域の課題解決や魅力向上に取り組んできました。

本地区版計画書は、地域が将来に向かってさらに発展していくための目標や取組を明らかにするものです。策定に当たっては、各地域の特性や区を取り巻く状況の変化を踏まえ、課題解決の方策などを、区民意識調査や区民参画組織からの提言を通じて、地域の皆さんとともに検討を進めてきました。

こうした中、世界的な大流行となった新型コロナウイルス感染症は、人々の「命」と「健康」を脅かすとともに、経済、子育て、教育、福祉、地域コミュニティなど多方面に深刻な影響を及ぼし、これまでの区民の暮らしを根底から揺るがす大きな危機をもたらしました。

町会・自治会等の地域活動やお祭り、各総合支所で実施する地域事業の多くは延期や中止、規模を縮小した開催となるなど、人々のふれあいや交流の機会が減少し、地域コミュニティ活動にも大きな影響が及んでいます。

このような状況にあっても、いつ起こるかわからない自然災害への備えや地域が抱える課題の解決に向けて、地域の多様な主体との「参画と協働」の取組をより一層推進していく必要があります。

各総合支所は、本計画書により地域の明るい未来への道筋を示し、区民の健康と安全を守ることがを最優先に、まちの元気と活力を取り戻します。そして、これまで以上に区民一人ひとりが大切にされ、多様性を認め合い、誰もが安心して心豊かに暮らすことのできる地域をめざして、区民とともに描いたまちの姿を実現していきます。

令和3(2021)年1月



港 区 長

武井 雅昭





※本計画書で掲載している写真は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前に撮影したものを含んでいます。

新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた総合支所の取組について

令和3(2021)年度から令和8(2026)年度までを期間とする地区版計画書は、新型コロナウイルス感染症の状況を的確に捉えるとともに、長期的な展望に立ち、新たな時代を見据え、区民意識調査の結果や区民参画組織からの提言をもとに区民とともに描いたまちの将来像の実現をめざします。

【総合支所の基本姿勢】

区民に最も身近な行政である各総合支所は、区民の健康と安全を守ることを最優先に、まちの元気と活力を取り戻すとともに、明るい未来への道筋を示し、地域の未来に夢を持つ、活気あふれる魅力的なまちをめざし、総合支所独自の地域事業を展開します。

新型コロナウイルス感染症を踏まえ、区民とのコミュニケーションや地域でのイベント開催などにおける配慮や手法の変革に、柔軟な発想で果敢に取り組めます。

<区民の健康と安全を守る取組例>

- ・オンラインの積極的な活用
- ・参加定員数などへの配慮
- ・感染症対策の視点を加えた防災訓練
- ・感染予防等の啓発・情報発信、相談 etc.

新型コロナウイルス感染症に関する港区の取組



新しい生活様式を取り入れた事業運営



アクリル板の設置と参加定員数に配慮した事業の実施



参加者同士の間隔を確保した事業の実施



「誰もが輝くことができる創造力と潤いのあるまち・港区ベイエリア」の実現へ

芝浦港南地区総合支所長 新井 樹夫

ご 挨 拶

芝浦港南地区は、都心にいながら水辺を身近に感じられるベイエリアとしての魅力があります。また近年、大規模集合住宅の建設が進むとともに新しく高輪ゲートウェイ駅が開業したことにより交通アクセスもますます便利になり、まちは進化を続けています。こうした中、まちでは、全ての世代で人口が増えており、子どもたちの笑顔があふれ、にぎわいと活気が満ちています。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、人々の命と健康を脅かすとともに、イベントの中止や延期、規模の縮小など、地域コミュニティにも深刻な影響を与えました。新しい日常とともに、人とのつながりも変化しています。そうした社会の変化に迅速かつ柔軟に対応しながら、安心して住み続けたいと思える快適で活力ある持続可能なまちを形成していきます。

今後も、「参画と協働」を更に推進することで、人が主体となり魅力ある水辺環境が創出されたまちの実現に向けて、地域の皆さんとともに全力で取り組んでまいります。

令和3(2021)年1月

困難を乗り越え、 区民とともにまちを元気にする

めざすまちの姿

誰もが輝くことができる創造力と潤いのあるまち・港区ベイエリア

港区基本計画・芝浦港南地区版計画書では、区民意識調査の結果や区民参画組織からの提言を踏まえ、本計画書の到達点を「めざすまちの姿」として設定しました。

芝浦港南地区総合支所は、地区の特徴である水辺環境を生かし、人々が快適に暮らすことができる環境を整え、持続可能なコミュニティを構築することができるまちの実現をめざします。

水辺のにぎわいを創出し、誰もが安全で快適に暮らせるまち



芝浦港南地区ならではの地域資源である運河や海辺のにぎわいを創出するとともに、安全に安心して生活できるまちが実現しています。

多様な主体と連携し地域資源の積極的な活用により、まちへの愛着と誇りを育むまち



多様な主体と連携し地域資源を活用した活力あるまちをつくり、芝浦港南地区への愛着と誇りを持って地域コミュニティの一員として活躍できるまちが実現しています。

多様な人々がともに暮らし、誰もが自分らしくいきいきと活躍するまち



年齢、性別、国籍など様々な属性にかかわらず、多様な人々がともに支え合いながら、自分らしくいきいきと活動し快適に過ごせるまちが実現しています。

目 次

第1章 総論	11
1 港区基本計画の目的と性格	12
2 計画策定の背景と基本姿勢	13
3 地区版計画書策定の基本的考え方	14
4 計画の構成	15
5 計画の期間	15
6 計画における「地域事業」の予算	16
7 地区版計画書とSDGs	17
8 芝浦港南地区版計画書の体系	18
水辺空間の活性化をめざして～水とみどりと光のまち～	20
第2章 芝浦港南地区の特性	23
1 地理的特徴	24
（1）位置と面積	24
（2）地形的特色	24
（3）交通	24
（4）歴史・文化的特色	26
2 施設等位置図	28
（1）主な公共施設	28
（2）公園等	29
（3）避難所・避難場所	30
3 人口想定	31

第3章 芝浦港南地区版計画書の内容	33
地区版計画書の見方	34
I かがやくまち	36
魅力ある水辺環境を創出し、快適に暮らし続けることができるまちを実現する	36
(1) 水とみどりのある、魅力的な都市空間を創出する	38
(2) 安全で安心して暮らすことができる快適な都心環境を実現する	42
II にぎわうまち	52
多様な主体との連携により、持続可能なコミュニティを創出する	52
(1) 地域特性を生かし、地域間の持続可能なコミュニティを構築するとともに多様な交流を促進する ..	54
(2) 地域資源を活用し、地域におけるにぎわいを創出する	58
III はぐくむまち	62
人と人が支え合える、多様性にあふれる地域社会を実現する	62
(1) 地域における子育て力の向上と子育て家庭への支援を充実する	64
(2) 誰もが心豊かに生活できる地域社会づくりを進める	66
IV 実現をめざして	72
参考資料	75
1 芝浦港南地区版計画書 策定経過	76
2 港区基本計画・芝浦港南地区版計画書策定に向けた提言	80

第1章

総論

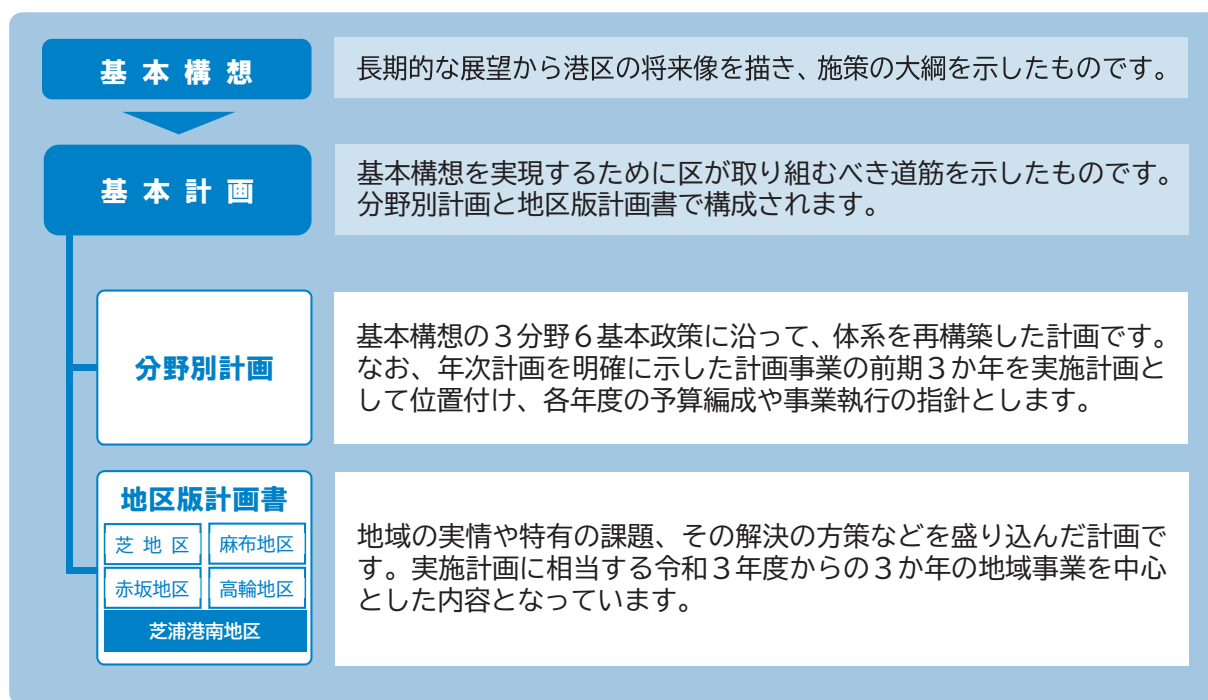
1 港区基本計画の目的と性格

港区基本計画は、区がめざすまちの姿とそこに至る道筋を明らかにし、目標や課題、施策の概要を体系的に示すことを目的としています。

基本計画は、区政のあらゆる分野で計画的に行財政運営を推進する際の指針となる最上位計画で、基本構想の3分野6基本政策に沿った、総合的な計画である「分野別計画」と、総合支所ごとに策定した「地区版計画書」で構成されています。

「地区版計画書」は、地域の課題を地域で解決し、地域の魅力をより高めるため、各総合支所が区民参画組織からの提言を踏まえて、複数年間（令和3（2021）年度からの6か年の前期3か年に該当する、令和3（2021）年度から令和5（2023）年度まで）の計画を立案した、独自に取り組む事業（以下「地域事業」といいます。）を中心とする計画書です。

総合支所は、この地区版計画書を区民と共有しつつ、あらゆる主体と協働してまちづくりを進めていくための基本的な方向を示すものとして活用します。



2 計画策定の背景と基本姿勢

港区には、「芝」「麻布」「赤坂」「高輪」「芝浦港南」という5つの特色ある魅力的な地区が存在しています。

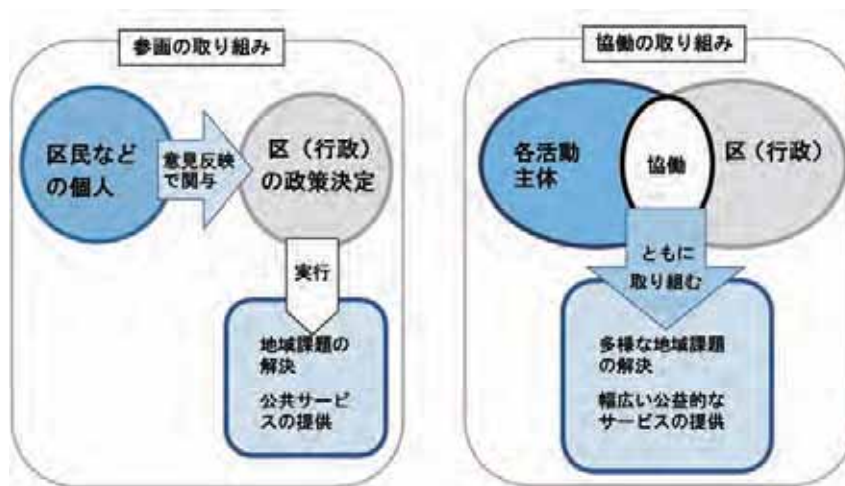
これら5つの地区の魅力と特性を生かすとともに、地域の課題を地域で解決し、区民がより身近な場所で様々な行政サービスを受けられることを目的として、平成18(2006)年4月に「区役所・支所改革」を実施し、それまでの「麻布」「赤坂」「高輪」「芝浦港南」の4つの支所は、「芝」を加えた5つの総合支所に生まれ変わりました。

「区役所・支所改革」の開始から15年の間に、各総合支所では区民協働により、各地区の課題解決や地域の魅力を高める取組などを行ってきました。

また、総合支所の権限強化や執行体制の充実、支援部等との連携を強化し、総合支所制度を充実することで地域と区との距離が近づき、相互の信頼関係が深まるなど「区役所・支所改革」は確実な成果を挙げています。

今回の計画策定では、前計画における各施策の成果やこれからの課題を検証し、区を取り巻く様々な状況変化に柔軟かつ的確に対応していくとともに、引き続き「参画と協働」により築いてきた区民や地域との強固な信頼関係を生かし、区が有する様々な地域資源や民間活力なども効果的に活用しながら、将来を見据えた港区ならではの政策実現に向けて着実に取り組んでいきます。

参画と協働



※出典：「港区区民協働ガイドライン」（平成26(2014)年3月）

3 地区版計画書策定の基本的考え方

(1) 「参画と協働」による計画の推進

地区版計画書の策定に当たっては、前計画の成果や今後の方向性について、芝浦港南地区の区民参画組織である「港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト」の中に設置した「地区版計画検討分科会」からいただいた提言の反映に最大限努めました。

地区版計画書に計上した事業の実施に当たり、「参画と協働」による取組を一層推進し、地域の課題解決と魅力の向上を図ります。

(2) 誰もが快適にいきいきと暮らすことのできる地域共生社会の実現に向けた取組の推進

子ども、高齢者、障害者、外国人、性的マイノリティなど、全ての人がともに支え合いながら、自分らしくいきいきと活動し、快適に暮らすことができる地域共生社会を実現するための取組を推進します。

(3) 地区を取り巻く環境変化への対応

令和2（2020）年3月に田町駅と品川駅間に高輪ゲートウェイ駅が開業したほか、リニア中央新幹線品川駅の開設も予定されています。それに伴い、駅周辺のまちづくりが進展していきます。

また、芝浦一丁目の開発など、芝浦地域の開発が進むことで、にぎわいが創出されることが予想されます。こうした環境変化に伴う地域への影響を的確に捉え、地域の魅力や区民の暮らしの向上につながる事業を展開します。

(4) 自然災害の激化や感染症の拡大に伴うリスクの高まりへの対応

地震や台風などの自然災害、新たな感染症など、様々な脅威に対して、区民や企業等と行政が連携し、地域が一体となって備えるとともに、災害発生時には円滑に対処できるよう、各関係機関との連携・協力を推進します。

(5) 景気後退による区財政への影響と増加する行政需要への対応

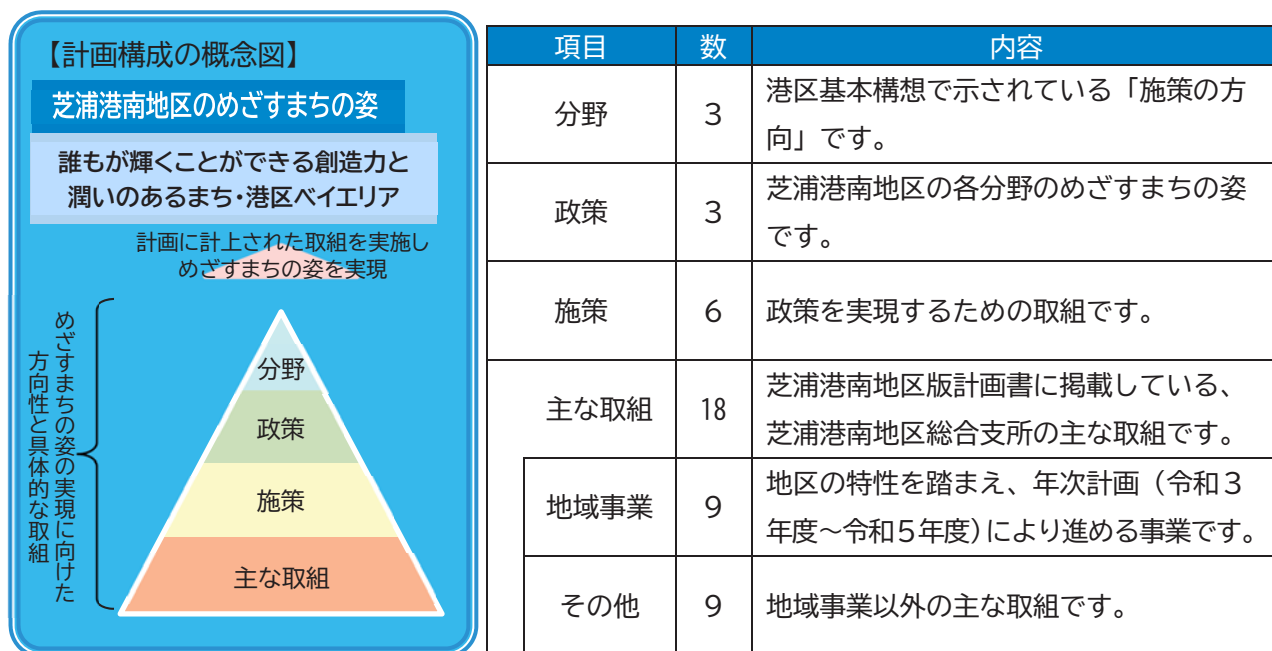
新型コロナウイルス感染症の影響で、景気悪化をはじめ様々な社会経済情勢が変化する中、区財政を取り巻く状況は、大変厳しくなることが見込まれています。

このような状況においても、新型コロナウイルス感染症の影響により大きな打撃を受けた地域コミュニティの活性化など、予想される行政需要に的確に対応する必要があります。

優先的・積極的に取り組むべき課題に対し、限られた財源を配分し、子どもから高齢者まで誰もが安心して住み続けられる環境づくりを推進します。

4 計画の構成

芝浦港南地区版計画書は、現在の芝浦港南地区が置かれている現状や特性を踏まえた上で、芝浦港南地区のめざすまちの姿である「誰もが輝くことができる創造力と潤いのあるまち・港区バイエリア」の実現に向けた、今後6年間の（令和3（2021）年度～令和8（2026）年度）の方向性と前期3か年（令和3（2021）年度～令和5（2023）年度）の具体的な取組を体系的に示しています。



計画の推進に際しては、地区の特性や豊富な地域資源を活用しながら、課題の解決や地域の魅力の向上を図るため、芝浦港南地区に住み、働き、学ぶ人々との協働により、芝浦港南地区のめざすまちの姿の実現に取り組んでいきます。

5 計画の期間

芝浦港南地区版計画書は、令和3（2021）年度を初年度とする令和8（2026）年度までの6か年計画とします。後期（令和6（2024）年度～令和8（2026）年度）については、前期3年目（令和5（2023）年度）に見直しを行います。

ただし、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会状況が大きく変化し、計画の根幹である人口推計や財政計画を修正する必要がある場合は、地域事業の年次計画や事業費など事業計画を変更することとします。

6 計画における「地域事業」の予算

「地域事業」は、令和3(2021)年度から令和5(2023)年度までの3か年について、総合支所ごとに配分された予算枠の中で実施します。

事業実施に係る予算は通常、事業ごとに単年度の予算額を定めています。これに対し、予算枠配分方式は、各総合支所の裁量を拡大し、地域特性や地域の課題を踏まえた「地域事業」を、配分された予算枠の中で年次計画を立てながら独自に創出できるようになっています。

〔単位：千円〕

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	計
事業費	34,655	36,674	37,025	108,354

No.	地域事業名	掲載頁
1	みずまちプロデュース事業	39
2	水辺のまちサーキュラーLAB.	40
3	バイエリアみどりでつなぐプロジェクト	41
4	バイエリア防災リンク事業	43
5	水辺フェスタ	55
6	歴史と文化がつなぐ地域交流事業	56
7	SKDs学びのまちプロジェクト	57
8	みなとパーク芝浦ふれあい交流事業	59
9	子育てあんしんプロジェクト	65

7 地区版計画書とSDGs

SDGsが掲げる「誰一人取り残さない」社会の実現に向けて、国や地方自治体、企業、教育・研究機関、NPOなど様々な主体により積極的な取組が展開されています。本計画書の政策の方向性とSDGsの各目標は重なるものが多いことから、政策や施策との関連を明らかにし、SDGsの目標を踏まえて、本計画書で掲げる各施策を推進していきます。

各政策と関連するSDGsのゴール

【かがやくまち】

魅力ある水辺環境を創出し、
快適に暮らし続けることができるまちを実現する



【にぎわうまち】

多様な主体との連携により、
持続可能なコミュニティを創出する



【はぐくむまち】

人と人が支え合える、
多様性にあふれる地域社会を実現する



【参考】SDGsとは

SDGs（持続可能な開発目標）とは、平成27(2015)年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された令和12(2030)年までに持続可能でより良い世界をめざす国際目標です。17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っており、普遍的なものとして全ての国で取組が進められています。



8 芝浦港南地区版計画書の体系

めざすまちの姿

分野

政策

施策

誰もが輝くことができる創造力と潤いのあるまち・港区バイエリア

I かがやくまち

街づくり・環境

1 魅力ある水辺環境を創出し、快適に暮らし続けることができるまちを実現する

(1) 水とみどりのある、魅力的な都市空間を創出する

(2) 安全で安心して暮らすことができる快適な都心環境を実現する

II にぎわうまち

コミュニティ・産業

1 多様な主体との連携により、持続可能なコミュニティを創出する

(1) 地域特性を生かし、地域間の持続可能なコミュニティを構築するとともに多様な交流を促進する

(2) 地域資源を活用し、地域におけるにぎわいを創出する

III はぐくむまち

福祉・保健・教育

1 人と人との支え合える、多様性にあふれる地域社会を実現する

(1) 地域における子育て力の向上と子育て家庭への支援を充実する

(2) 誰もが心豊かに生活できる地域社会づくりを進める

主な取組



は芝浦港南地区の地域事業

① みずまちプロデュース事業



② 水辺のまちサーキュラーLAB.



③ 運河の魅力向上の推進

④ バイエリアみどりをつなぐプロジェクト



① バイエリア防災リンク事業



② ルール・マナーの啓発活動の推進

③ 環境美化の推進

① 水辺フェスタ



② 歴史と文化がつなぐ地域交流事業



③ SKDs 学びのまちプロジェクト



① みなとパーク芝浦ふれあい交流事業



② 魅力的な施設の利活用

③ お台場ふるさとの海づくり

① 子育てあんしんプロジェクト



① 地域での支え合いの充実

IV 実現をめざして

- ③ 新しい生活様式を取り入れた事業運営
- ② 効果的な情報発信
- ① 参画と協働の推進

水辺空間の活性化をめざして

芝浦港南地区は、大小様々な運河が流れるとともに、台場には眺望に恵まれた海が広がり、都心にながら水辺を身近に感じられるベイエリアとして、他の地区にはない地域特性があります。

区は、運河や海辺などの水辺空間の活性化に向けて、環境・観光・防災・まちづくり等、様々な視点から、区民をはじめ関係機関や民間事業者等の多様な主体と連携を深め、総合支所を中心に、全区的な体制で取り組みます。



運河の
オープンカフェ



光の演出による
魅力的な夜間景観の創出

橋りょうやモニュメントなどをライトアップし、「光のロード」「光のトンネル」「光のシンボル」といったテーマによる光の演出でまちの魅力を高めていくよ！

自転車
シェアリング



運河クルーズの実施

水辺からまちを眺めることで新たな地域の魅力を発見しよう！



運河の水質浄化の促進

運河の水をきれいにする実証実験を通じて人にも生き物にも優しい環境づくりが進んでいるよ！

光のシンボル

橋りょうやモニュメントが光り輝き、水と光の演出による新たなナイトスポットが生まれていくよ！

～水とみどりと光のまち～

みなとパーク
芝浦

光のトンネル

芝浦運河に架かる橋りょうの
輝きによる、船から楽しめる
「光のトンネル」をつくっていくよ！



舟運の活性化

水上バスや水上タクシー、
水陸両用バスなどの交通
手段が身近になるよ！

光のロード

東京タワーからレインボーブリッジまでの
橋りょうが輝き、歩いて楽しめる
「光のロード」を結んでいくよ！

運河沿いの緑化推進

アドプト制度などによる緑化推進に
地域の人々で取り組んでいるよ！



「泳げる海、お台場」の実現

地域の人々が一丸となり、
海水浴イベントなどの取組を行っているよ！



第2章

芝浦港南地区の特性

第2章

芝浦港南地区の特性

1 地理的特徴

(1) 位置と面積

港区の東南部に位置し、東京湾に面しています。JR線を境に港区内の他の地域と隔てられ、北側は芝地区、西側は高輪地区、南側は品川区と接しています。

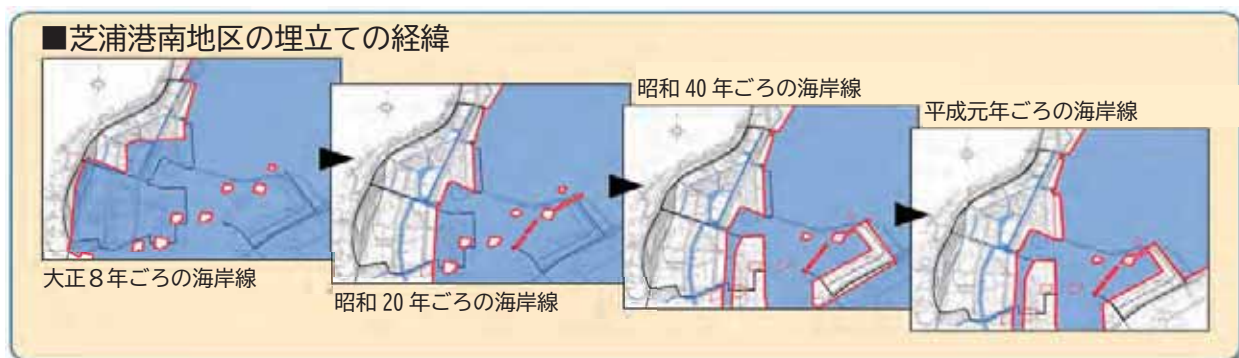
総面積は約4.64km²で、港区の総面積約20.37km²の22.8%を占めています。港区の5地区の中では最も広い地区です。



(2) 地形的特色

芝浦港南地区の大半が埋立てによりできたことから、地区の大部分が標高10m未満の低地で、起伏の少ない平らな地形です。区内の他地区が高低差のある地形であることと比べると、特徴的な地形となっています。

また、地区内を、芝浦運河、高浜運河、京浜運河等が縦横に走り、運河によって地域が細かく隔てられています。それらを、南浜橋、汐彩橋、新港南橋、レインボーブリッジ等の多数の橋りょうが結んでおり、身近に、豊かな水辺空間を感じられることが大きな特色です。



(3) 交通

地区内を南北に縦貫する海岸通りにより、中央区方面、品川区方面と結ばれています。JR、都営地下鉄、ゆりかもめ（東京臨海新交通臨海線）により、他地区との交通が確保され、鉄道駅としてJRの田町駅、品川駅、ゆりかもめの日の出駅、芝浦ふ頭駅、お台場海浜公園駅、台場駅が利用できます。また、令和2（2020）年3月には新たに高輪ゲートウェイ駅が開業し、鉄道利便性の向上が期待されています。

「ちいばす」は芝浦港南ルートをはじめ、田町ルート、芝ルート、高輪ルートなどが地区内を走っています。「お台場レインボバス」は台場と品川駅・田町駅を直接結ぶシャトルバスとして運行されています。また、芝浦と台場を船で結ぶ定期便の「アーバンランチ」という、水辺のまち芝浦港南地区らしい交通手段も存在します。

■ 芝浦港南地区の橋りょう・運河・水門・鉄道等の位置図



橋りょう		
① 新浜崎橋	⑭ 港栄橋	⑳ 高浜橋
② 浜崎橋	⑮ 渚橋	㉑ 五色橋
③ 東芝浦橋	⑯ 夕風橋	㉒ 港南大橋
④ 新浜橋	⑰ 竹芝橋	㉓ 浜路橋
⑤ 新芝浦橋	⑱ 香取橋	㉔ 新港南橋
⑥ 未広橋	㉒ 鹿島橋	㉕ 御楯橋
⑦ 南浜橋	㉓ 霞橋	㉖ 楽水橋
⑧ 日の出橋	㉔ 新芝橋	㉗ 天王洲橋
⑨ 新日の出橋	㉕ 芝潟橋	㉘ 天王洲ふれあい橋
⑩ 浦島橋	㉖ 藻塩橋	㉙ 天王洲大橋
⑪ 潮路橋	㉗ 百代橋	㉚ レインボーブリッジ
⑫ 船路橋	㉘ 八千代橋	㉛ のぞみばし
⑬ 汐彩橋	㉙ 芝浦橋	㉜ 新都橋

運河
① 芝浦運河
② 新芝運河
③ 新芝北運河
④ 新芝南運河
⑤ 芝浦西運河
⑥ 高浜西運河
⑦ 高浜運河
⑧ 京浜運河
⑨ 天王洲運河
⑩ 有明西運河

水門
① 古川水門
② 日の出水門
③ 高浜水門
④ 天王洲水門

港区自転車シェアリング
サイクルポート

(4) 歴史・文化的特色

●芝 浦

江戸時代まで干潟で、江戸前の魚が取れる豊かな海が広がっていました。明治後半から東京湾の埋立て拡張により、現在の芝浦ができました。

芝浦という地名は、文明 18(1486)年「廻国雑記」という紀行に、芝の村の海岸を意味する「芝の浦」と記載されたのが最初とされています。

●海 岸

大部分が東京湾の浅瀬であり、明治後半から埋立てられた土地に、大正 2(1913)年に日出町、大正 8(1919)年に芝浦町、昭和 2(1927)年に竹芝町が誕生しました。

海岸という地名は、昭和 11(1936)年、これら埋立地の町に新銭座町、浜松町、神明町、新綱町、湊町などの一部を合わせて呼んだ「海岸通り」が元になっています。

●港 南

海だったこの土地の埋立ては、嘉永 6(1853)年、ペリー来航に対して危機を感じた江戸幕府が海上に大砲台を設置するための台場を造成したことから始まります。明治以降は、鉄道用地・港湾施設や工場用地として造成されました。こうしてできた土地が、現在の港南の基礎となります。

港南という地名は、昭和 40(1965)年の「新住居表示」の際、港区の南に位置していることからつきました。

●台 場

幕府が江戸城防備のため、嘉永 6(1853)年から海上に造成した 7つの台場のうち、第三台場と第六台場が消滅せずに残りました。東京湾の海底を掘削した際の残土で、第三台場とつながる形で埋立てが進み、臨海地域開発により、平成 8(1996)年までに台場地区のまちが概成しました。

台場という地名は、砲台を築いた「台場」がそのまま地名になりました。

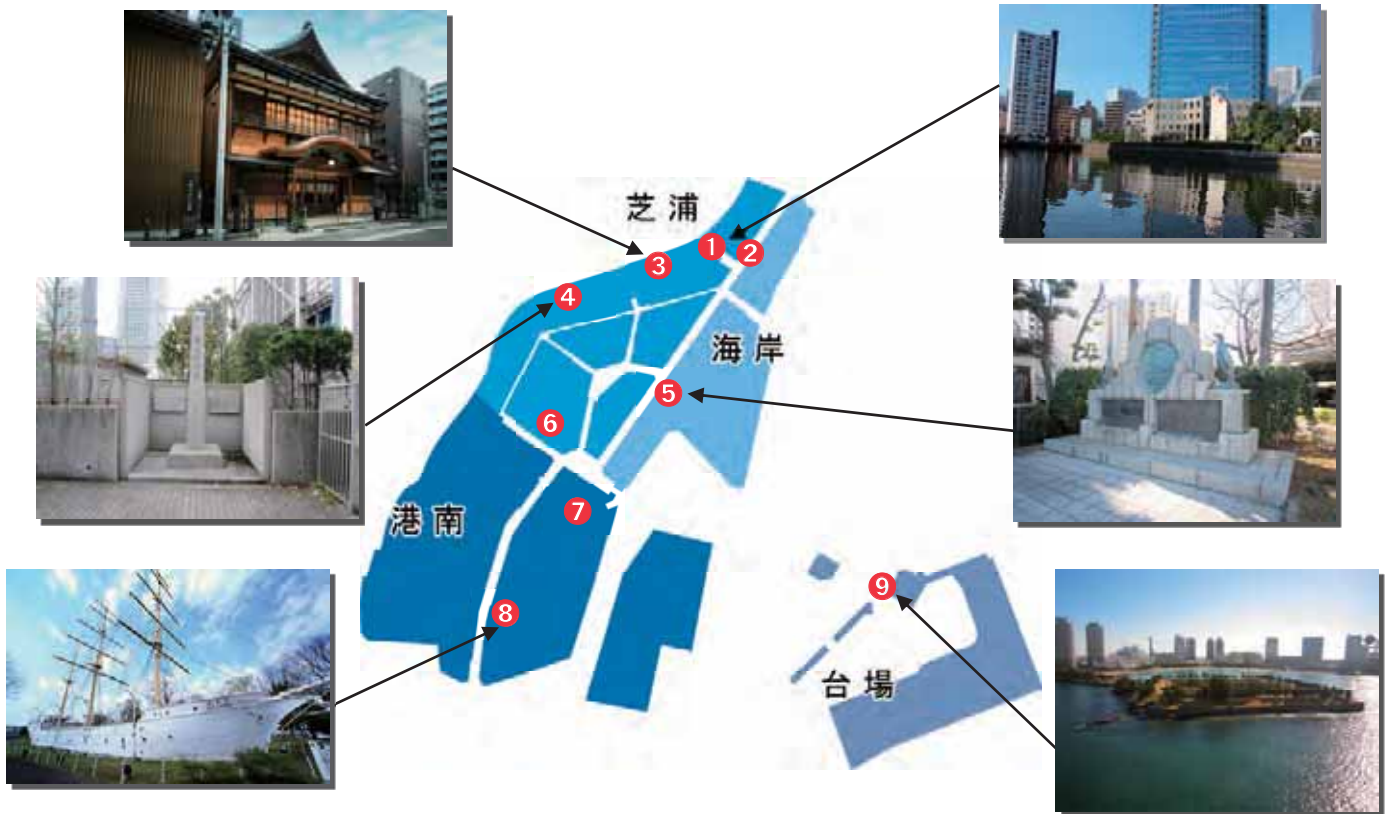


東京十二題 品川沖（港区立郷土歴史館所蔵）



名所江戸百景 芝うら乃風景（港区立郷土歴史館所蔵）

■主な歴史的名所



①重箱堀	②芝浦グラウンド跡	③伝統文化交流館
大正2年に芝浦運河の船溜まりとして整備された石積護岸です。この場所には、明治11年に鐘ヶ江晴朝が東京都知事から許可を得て、海水浴場が開設されていました。当時の海水浴は、病気療養や健康増進を目的として行われました。この芝浦に開設された海水浴場が、国内初の海水浴場とも言われています。	大正6年、日本、中華民国、フィリピンの3か国で行われていた総合スポーツ大会「第3回極東選手権大会」が芝浦グラウンドで開催されました。	唐破風玄関を有する木造の近代和風建築であり、芝浦花柳界の見番として建設されました。戦後は東京都により、港湾労働者施設として使用されていましたが、老朽化による閉鎖後、港区に移譲され、区は指定有形文化財に指定しました。現在は、伝統や文化を次世代へとつなぐ施設として、活用されています。
④放送記念碑	⑤南極探検隊記念碑	⑥芝浦アイススケート場跡
大正13年11月29日、芝浦に社団法人東京放送局（初代総裁：後藤新平）が設立されました。 翌大正14年3月22日午前9時30分、芝浦の仮放送所から日本のラジオの第一声が放送されました。	埠頭公園内には、明治43年11月に白瀬隊長率いる日本初の南極探検隊が出航したことを記念した南極探検隊の碑があります。また、隣接地には「芝浦球場」跡地があり、日本のプロ野球チーム発祥の地とされています。	昭和8年に、東洋一の規模を誇る芝浦アイススケート場が竣工しました。当時、アイスホッケーの早慶戦、フィギュアスケートの全日本選手権等が開催され、東京を代表するスケートの聖地となりました。
⑦第一芝浦丸	⑧雲鷹丸	⑨品川台場
大正15年に完成した蒸気船で、東京港の海底の土砂を掘る浚渫船やその土砂を運ぶ船の曳き船として、昭和49年まで活躍しました。今は、陸の上で、東京港の発展の歴史を偲ばせています。	明治42年に造られた3本マストの帆船で、現存する最古の国産鋼鉄製の船です。同年から20年間にわたり、農商務省水産講習所（現在の東京海洋大学）の練習船として、捕鯨実習や漁業調査、学生実習の場で活躍しました。	嘉永6年ペリー来航以後、幕府が黒船の襲来に備え築いたものです。第六台場までありましたが、現在は、多くが取り壊され、第三台場、第六台場のみ国史跡として、残されています。第三台場は都立台場公園となっています。

(2) 公園等

公園等は、13か所の区立公園があるほか、3か所の児童遊園、2か所の遊び場、4か所の都立公園があります。



■芝浦公園



■港南緑水公園



■お台場レインボー公園



(令和3(2021)年3月現在)

(3) 避難所・避難場所

芝浦港南地区では、現在9か所の区民避難所（地域防災拠点）、3か所の福祉避難所を指定しています。また、町会・自治会では、安否確認や救出・救護を行うために、一時的に集まる場所として、それぞれ地域集合場所を定めています。なお、地区内に広域避難場所※¹はなく、芝浦港南地区全体（芝浦、海岸二・三丁目、港南、台場）が地区内残留地区※²として定められています。



区民避難所での宿泊体験

※1：震災時、火災の延焼による危険から避難する場所

※2：震災時、火災の延焼の危険性が少なく、
広域避難場所に避難する必要がない地区



(令和3(2021)年3月現在)

各避難所（避難場所）の役割

区民避難所 (地域防災拠点)	災害による家屋の倒壊・延焼等で被害を受けた人の一時的な生活場所
福祉避難所	在宅や区民避難所（地域防災拠点）での生活が困難で、介護などのサービスを必要とする高齢者や障害者の一時的な生活場所
地域集合場所	地域の人々の安否確認や救出・救護を行うために一時的に集まる場所（町会・自治会、防災会などで定めている）

■	広域避難場所
●	区民避難所
●	福祉避難所

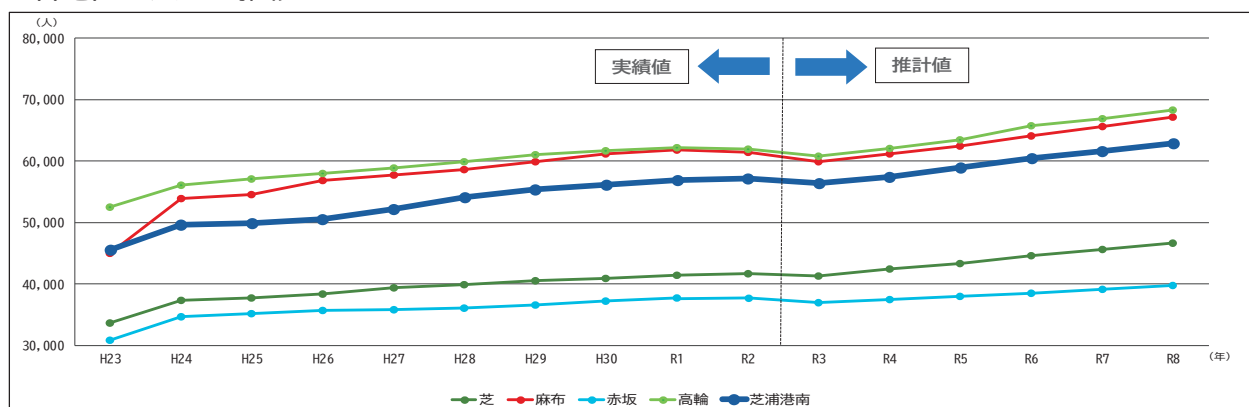
3 人口想定

港区の人口（住民基本台帳人口）は、令和元(2019)年9月に 26 万人を超え、令和2(2020)年1月1日には 260,379 人に達しました。10 年前の平成 22(2010)年に比べ、東京都の人口が 6.3%の増加率を示しているのに対して、港区の人口は 16.6%増加しています。港区の年齢3区分別の人口では、年少人口（0歳～14歳）、生産年齢人口（15歳～64歳）及び老年人口（65歳以上）のいずれも増加しており、特に年少人口の増加が顕著です。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2(2020)年6月以降連続して減少を続け、近年見られない傾向が表れています。港区の将来人口は、令和3(2021)年度に一定程度減少した後、毎年4千人～7千人程度の増加が見込まれ、令和8(2026)年10月1日には約 28 万 5 千人となる見通しです。各地区においても引き続き増加が見込まれますが、年齢3区分の構成比は、麻布地区と芝浦港南地区を除いて年少人口の割合が増加し、老年人口の割合が減少すると想定しています。

芝浦港南地区の人口は、令和2(2020)年10月1日現在 57,151 人ですが、令和8(2026)年10月1日には、62,831 人となり、現在の人口よりも約 9.9%増えると予想されています。

■各地区の人口の推移



資料：港区人口推計結果（各年10月1日現在）

※平成24(2012)年から外国人を含んだ数値となっています。

■人口の予測

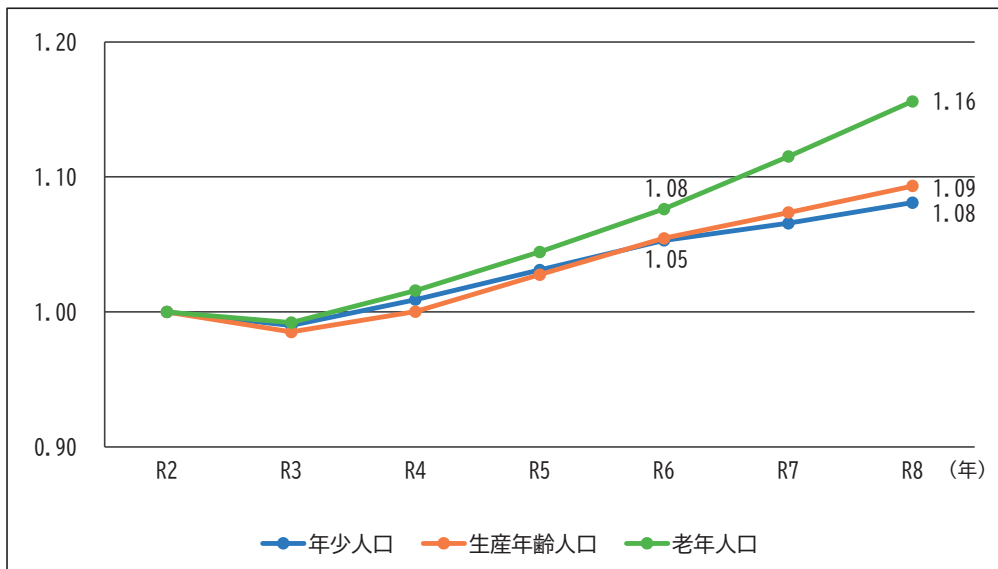
（ ）内は、各総数に対する構成比を示します。

		令和元年10月1日		令和2年10月1日		令和8年10月1日(推計)	
		実数	構成比	実数	構成比	想定数	構成比
港区	総人口	260,115 人	(100.0%)	259,893 人	(100.0%)	284,647 人	(100.0%)
地区別人口	芝地区	41,475 人	(15.9%)	41,671 人	(16.0%)	46,640 人	(16.4%)
	麻布地区	61,805 人	(23.8%)	61,404 人	(23.6%)	67,131 人	(23.6%)
	赤坂地区	37,682 人	(14.5%)	37,730 人	(14.5%)	39,795 人	(14.0%)
	高輪地区	62,245 人	(23.9%)	61,937 人	(23.8%)	68,250 人	(24.0%)
	芝浦港南地区	56,908 人	(21.9%)	57,151 人	(22.0%)	62,831 人	(22.1%)

資料：港区人口推計結果（各年10月1日現在）

※推計値及び構成比は単位未満を四捨五入し、端数処理をしていないため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合があります。

■芝浦港南地区の年齢3区分別人口の推移（令和2（2020）年10月1日現在の人口を1とした値）



資料：港区人口推計結果（各年10月1日現在）

※年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）

■年齢3区分別人口の予測（芝浦港南地区・港区）（ ）内は、各総数に対する構成比を示します。

		令和元年10月1日		令和2年10月1日		令和8年10月1日(推計)	
芝浦港南地区	総数	56,908人	(100.0%)	57,151人	(100.0%)	62,831人	(100.0%)
	年少人口	9,531人	(16.7%)	9,610人	(16.8%)	10,388人	(16.5%)
	生産年齢人口	40,066人	(70.4%)	40,099人	(70.2%)	43,840人	(69.8%)
	老年人口	7,311人	(12.8%)	7,442人	(13.0%)	8,603人	(13.7%)
港区	総数	260,115人	(100.0%)	259,893人	(100.0%)	284,647人	(100.0%)
	年少人口	35,571人	(13.7%)	35,885人	(13.8%)	40,192人	(14.1%)
	生産年齢人口	180,570人	(69.4%)	179,834人	(69.2%)	197,043人	(69.2%)
	老年人口	43,974人	(16.9%)	44,174人	(17.0%)	47,412人	(16.7%)

資料：港区人口推計結果（各年10月1日現在）

※推計値及び構成比は単位未満を四捨五入し、端数処理をしていないため、合計の数値と内訳の計が一致しない場合があります。

※年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）、老年人口（65歳以上）

第3章

芝浦港南地区版計画書の内容

第3章

芝浦港南地区版計画書の内容

地区版計画書の見方

●政策のページの見方

分野

3つの分野（かがやくまち、にぎわうまち、はぐくむまち）のどれに該当するかを示します。

SDGsのゴールとの関係

関連するSDGsのゴールを一覧で表示しています。

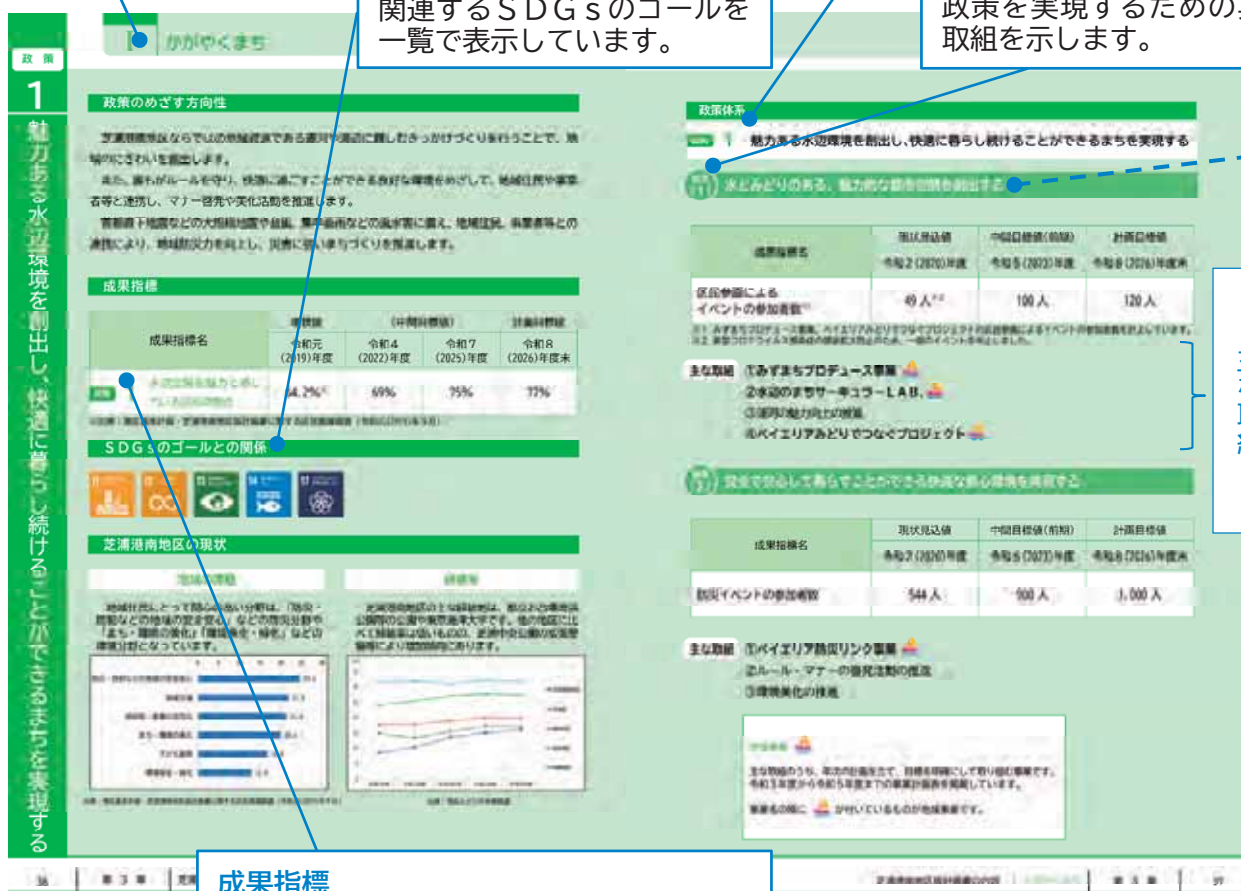
政策

芝浦港南地区のめざす方向性を示します。

施策

政策を実現するための具体的な取組を示します。

主な取組



成果指標

区民意識調査などに基づく区民の満足度を指標として設定しています。

政策のめざす方向性

芝浦港南地区ならではの地域資源である運河や海辺に親しむきっかけづくりを行うことで、地域のにぎわいを創出します。

また、誰もがルールを守り、快適に過ごすことができる良好な環境をめざして、地域住民や事業者等と連携し、マナー啓発や美化活動を推進します。

首都直下地震などの大規模地震や台風、集中豪雨などの風水害に備え、地域住民、事業者等との連携により、地域防災力を向上し、災害に強いまちづくりを推進します。

成果指標

成果指標名	現状値	(中間目標値)		計画目標値
	令和元 (2019)年度	令和4 (2022)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度末
政策 1 水辺空間を魅力と感じている区民の割合	64.2%※	69%	75%	77%

※出典：港区基本計画・芝浦港南地区版計画書に関する区民意識調査（令和元(2019)年9月）

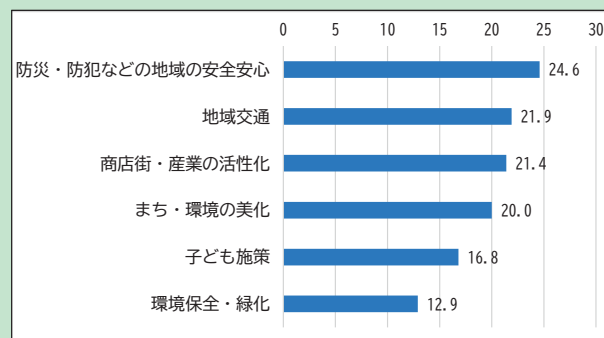
SDGsのゴールとの関係



芝浦港南地区の現状

地域の課題

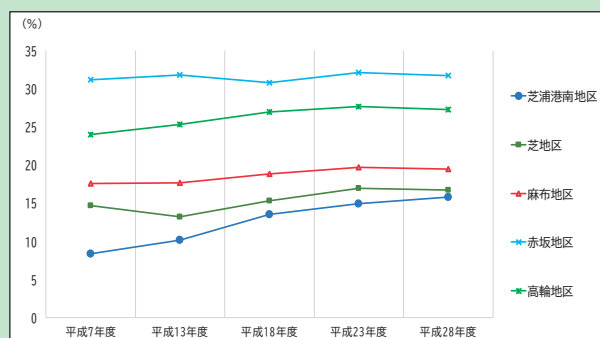
地域住民にとって関心の高い分野は、「防災・防犯などの地域の安全安心」などの防災分野や「まち・環境の美化」「環境保全・緑化」などの環境分野となっています。



出典：港区基本計画・芝浦港南地区版計画書に関する区民意識調査（令和元(2019)年9月）

緑被率

芝浦港南地区の主な緑被地は、都立お台場海浜公園等の公園や東京海洋大学です。他の地区に比べて緑被率は低いものの、芝浦中央公園の拡張整備等により増加傾向にあります。



出典：港区みどりの実態調査

政策体系

政策 1 魅力ある水辺環境を創出し、快適に暮らし続けることができるまちを実現する

施策(1) 水とみどりのある、魅力的な都市空間を創出する

成果指標名	現状見込値	中間目標値(前期)	計画目標値
	令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
区民参画によるイベントの参加者数※1	49人※2	100人	120人

※1 みずまちプロデュース事業、バイエリアみどりでつなぐプロジェクトの区民参画によるイベントの参加者数を計上しています。

※2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部のイベントを中止しました。

- 主な取組
- ①みずまちプロデュース事業 
 - ②水辺のまちサーキュラーLAB. 
 - ③運河の魅力向上の推進
 - ④バイエリアみどりでつなぐプロジェクト 

施策(2) 安全で安心して暮らすことができる快適な都心環境を実現する

成果指標名	現状見込値	中間目標値(前期)	計画目標値
	令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
防災イベントの参加者数	544人	900人	1,000人

- 主な取組
- ①バイエリア防災リンク事業 
 - ②ルール・マナーの啓発活動の推進
 - ③環境美化の推進

地域事業

主な取組のうち、年次の計画を立て、目標を明確にして取り組む事業です。令和3年度から令和5年度までの事業計画表を掲載しています。

事業名の隣に  が付いているものが地域事業です。

施策
(1)

水とみどりのある、魅力的な都市空間を創出する

目標・期待する成果

水辺を身近に親しむことができる取組や緑化の普及・啓発を図ることで、良好な景観形成に寄与するとともに、地域の憩いやふれあいの場を創出します。

■SDGsのゴールとの関係



成果指標

成果指標名	現状見込値	中間目標値(前期)	計画目標値
	令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
区民参画による イベントの参加者数※1	49人※2	100人	120人

※1 みずまちプロデュース事業、バイエリアみどりをつなぐプロジェクトの区民参画によるイベントの参加者数を計上しています。

※2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、一部のイベントを中止しました。

現状と課題

- 芝浦港南地区の運河や海辺は他の地区にはない魅力的な地域資源です。地域住民の運河や海辺に対する関心や期待は高く、今後も継続的に魅力の向上や発信に取り組んでいく必要があります。
- 運河の水質など環境改善に向けた気運を醸成するため、既存の地域資源を活用しつつ区民、企業、学校等と連携しながら運河の魅力を高め、区民に身近に感じてもらう取組を進めていく必要があります。
- 芝浦港南地区には、東京湾につながる運河とそこに架かる橋りょうがあり、水辺空間の魅力向上を期待されています。
- 芝浦港南地区の緑被率※1は区内5地区の中で最も低い一方、みどり率※2は、赤坂・高輪地区に次いでいます。これは運河を含めた水辺や大型の区立公園を複数有する芝浦港南地区ならではの特徴であり、この特徴を生かした更なる魅力向上が求められています。
- 芝浦港南地区内では、芝浜小学校が令和4(2022)年度に開校予定であるなど、年少人口が増加しており、今後もその傾向は続くと想定され、子どもたちの自然体験・環境学習の場や機会が求められています。

※1 緑被率…敷地面積に占める緑化面積の割合【芝浦港南地区：15.8%（平成28(2016)年度）】

※2 みどり率…緑被率に公園内で緑に覆われていない部分、水面を加えたもの【芝浦港南地区：26.3%（平成28(2016)年度）】

主な取組

① みずまちプロデュース事業

区民との協働により、地域の魅力を一層高めるためにまち歩きなどのイベントを開催します。地域の方々がイベントを通じて、水辺の魅力を発見・体感することで、水辺への愛着と理解を深めます。

また、芝浦港南地区ならではの地域資源である運河や海辺の活用を図り、誰もが安らぎを感じ、憩いの場として人々が集える環境づくりを推進します。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和2 (2020)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度	計
水辺空間の魅力 向上に向けた 取組の推進	区民参画による イベントの実施 (2回)	区民参画による イベントの実施 (2回)	区民参画による イベントの実施 (2回)	区民参画による イベントの実施 (2回)	区民参画による イベントの実施 (6回)
事業費（千円）		5,728	5,728	5,728	17,184



まち歩きの様子



運河クルーズの様子

区民参画組織

芝浦港南地区総合支所では、地域の皆さんと区がともに考え、行動する組織「港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト」を設置しています。

また、「港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト」には、地域の魅力向上のための活動や地区情報誌の発行など活動分野に沿って分科会を設置して活動しています。

メンバーは、芝浦港南地区在住、在勤、在学者又は芝浦港南地区のために活動することを希望する者で構成されています。

② 水辺のまちサーキュラーLAB. 新規事業

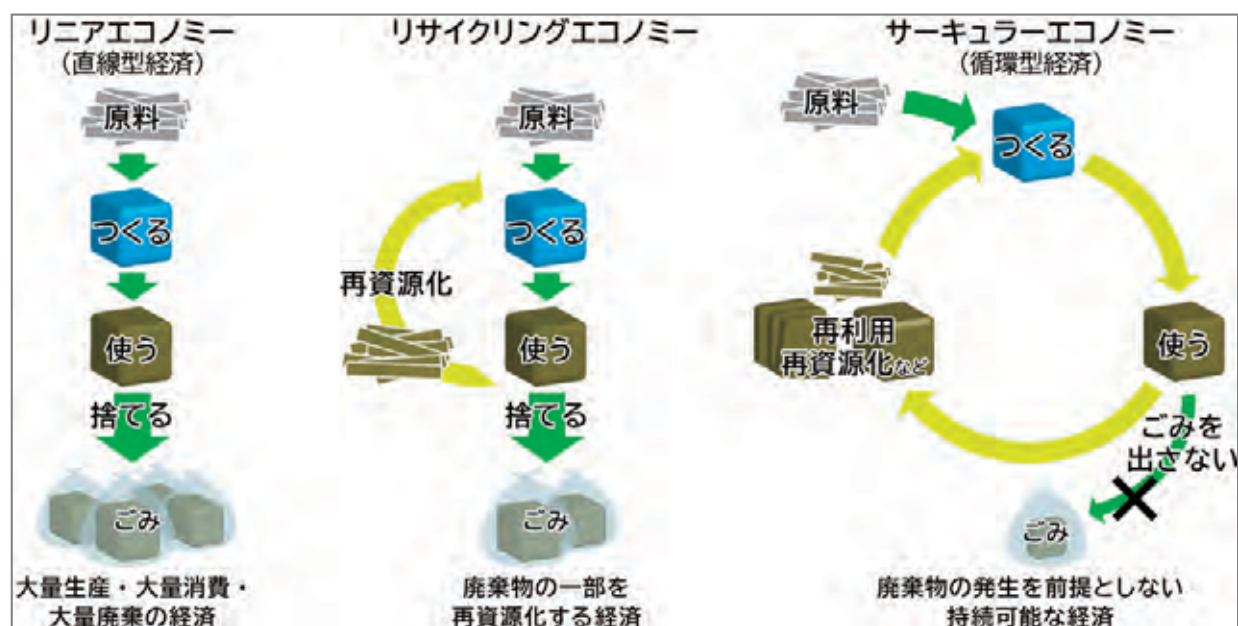
運河の水質など環境改善に向けた気運を醸成するために、サーキュラーエコノミー※の視点を活用した文化芸術等の取組を実施し、環境問題について考えるきっかけをつくるとともに、環境に配慮した暮らし方を提案します。

また、水辺空間をより多くの人に身近に感じてもらうために、地区内の企業、大学、町会・自治会等と連携し、魅力向上を図ります。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和2 (2020)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度	計
多様な主体との 連携体制の構築	—	多様な主体との 連携体制の構築			多様な主体との 連携体制の構築
サーキュラー エコノミーにかかる 取組の検討・実施		サーキュラー エコノミーにかかる 取組の検討	サーキュラー エコノミーにかかる 取組の実施 (2回)	サーキュラー エコノミーにかかる 取組の実施 (3回)	サーキュラー エコノミーにかかる 取組の検討・実施 (5回)
事業費（千円）		3,000	3,000	3,000	9,000

※サーキュラーエコノミー（循環型経済）

従来「廃棄」されていた製品を新たな「資源」と捉え、廃棄物を出すことなく資源を循環させる持続可能な経済のことです。EU諸国では「サーキュラーエコノミー」への転換が進められています。日本においても、経済産業省が「循環経済ビジョン2020」を発表し、サーキュラーエコノミーを推進していくことを掲げています。



③ 運河の魅力向上の推進

橋りょう等のライトアップを行うことで、水辺空間の魅力向上を図るとともに、魅力的な夜間景観を創出し、芝浦港南地区の魅力を区内外に発信していきます。また、運河沿いの夜間景観を明るくすることで、地域のより安全・安心なまちづくりにつなげます。



ブルーライトアップの御橋橋



レインボーカラーの渚橋

④ バイエリアみどりでつなぐプロジェクト

他地区と比較し、緑被率が低い現状を踏まえ、区民や事業者と協力し、みどりの保全と創出に向けた普及・啓発を推進します。併せて、芝浦港南地区特有のみどりと水辺のある環境や新たなまちづくりにより創出されたみどりを実体験することで、みどりのあるまちづくりへの理解を高めます。

また、児童を中心とした稲作体験やミニ農園体験を通じて、食育や自然体験学習の場を増やし、世代間交流を促進するとともに、みどりに親しむ機会の充実を図ります。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和2 (2020)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度	計
緑化に関する 普及・啓発	稲作体験 稲刈り (1回)	稲作体験 田植え・稲刈り (各1回)	稲作体験 田植え・稲刈り (各1回)	稲作体験 田植え・稲刈り (各1回)	稲作体験 田植え・稲刈り (各3回)
	ミニ農園体験 (2回)	ミニ農園体験 (2回)	ミニ農園体験 (2回)	ミニ農園体験 (2回)	ミニ農園体験 (6回)
みどりに親しむ 機会の充実	グリーンツアー の中止※	グリーンツアーの 実施 (1回)	グリーンツアーの 実施 (1回)	グリーンツアーの 実施 (1回)	グリーンツアーの 実施 (3回)
				みどりと水辺の 散策マップの作成	みどりと水辺の 散策マップの作成
事業費（千円）		3,152	3,152	3,503	9,807

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業を中止しました。



グリーンツアーの様子



稲刈り体験の様子

施策
(2)

安全で安心して暮らすことができる快適な都心環境を実現する

目標・期待する成果

大規模地震や風水害に備え、災害時における情報伝達手段等を強化し、防災体制及び防災対策の充実を図ります。

地域住民や事業者等と協働し、マナー啓発や環境美化活動を通じて、快適なまちづくりを推進します。

■SDGsのゴールとの関係



成果指標

成果指標名	現状見込値	中間目標値(前期)	計画目標値
	令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
防災イベントの参加者数	544人	900人	1,000人

現状と課題

- 区民意識調査では、地域の課題として「防災・防犯などの地域の安全安心」を選んだ回答者が最も高い割合となっており、期待度・重要度ともに高くなっています。また、防災関連事業への参加意欲についても、33.1%と全ての地域事業の中で特に高い割合となっており、今後も地域住民や事業者等と連携して防災力を高めていく必要があります。
- 芝浦港南地区は東京港や運河など、水辺に囲まれた地域特性があります。大規模地震や風水害などの様々な災害に対し、地区の特性を踏まえた防災対策等の知識を地域住民に周知することが求められています。そのため、地域住民や事業者等と連携してより楽しく気軽に防災の知識や備えについて学び、体験できる機会を創出する必要があります。
- 近年、自転車は環境負荷が少ないことや、健康志向の高まりなどから、利用者が増加しています。自転車と歩行者の双方が、安全で快適に道路を利用できるよう自転車利用者への交通安全意識と走行マナーの啓発が必要です。
- 町会・自治会、商店会、地域の事業者等で構成される芝浦港南地区安全・美化協議会は、定期的な清掃活動やみなとタバコールの啓発活動などを行っており、地域住民の環境美化への意識は高くなっています。
- 新しい住民及び事業者が増えている一方、地域の清掃活動は、参加者の固定化などの課題を抱えており、より多くの住民、事業者の参加を募るための工夫が必要です。

主な取組

① バイエリア防災リンク事業

地震等の災害に備えるための地域防災連絡会等を対象とした防災啓発ワーキングセミナーの実施により、事業者向けに災害時に助け合える防災力向上を促進し、セミナーをきっかけとして、地域防災協議会との連携を行い、地域住民と事業者、区との連携強化を推進します。

また、地域住民が楽しく気軽に防災の知識や備えについて学べるイベント等を実施します。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和2 (2020)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度	計
事業者・地域住民 向け防災力の向上	防災教育	事業者向け 防災ワーキング セミナーの実施 (2地域)	事業者向け 防災ワーキング セミナーの実施 (2地域)	事業者向け 防災ワーキング セミナーの実施 (2地域)	事業者向け 防災ワーキング セミナーの実施 (6地域)
	防災知識の 普及・啓発	防災啓発・周知 のための防災 イベントの実施 (2回)	防災啓発・周知 のための防災 イベントの実施 (2回)	防災啓発・周知 のための防災 イベントの実施 (2回)	防災啓発・周知 のための防災 イベントの実施 (6回)
事業費（千円）		1,299	1,299	1,299	3,897



地域防災連絡会での防災体験学習会の様子



防災啓発イベントの様子

地域防災連絡会

事業者を中心に、地域における自助力、共助力を高めるために組織されたもので、地域住民・行政（警察署・消防署・区・学校）と連携して活動しています。緊急連絡網を活用し、区からの防災関連情報の伝達・共有を行うほか、災害時の混乱を防ぐため、地域全体での協働体制を確立させ、地域の防災力向上を図ります。

芝浦港南地区における地域防災連絡会

芝浦・海岸
地域防災連絡会

台場地域
防災連絡会

地域防災協議会

区立小学校区を単位として、避難所の開設や運営のための協議、防災訓練など、日頃から様々な防災活動を行っている、近隣の防災住民組織（町会・自治会）、事業者、学校PTAなどで結成された、地域防災の中心を担うための組織です。

芝浦港南地区における地域防災協議会

芝浦小地区防災
協議会

港南防災
ネットワーク

お台場地区
防災協議会

② ルール・マナーの啓発活動の推進

自転車利用のルールやマナーの向上のため、地域住民と協働し啓発活動に取り組みます。また、放置自転車に対し、巡回をもとに警告札の貼付、撤去等の対応をすることで安全で快適な歩行空間を確保します。

さらに、みなとタバコルールでは、道路など屋外の公共の場所における喫煙、ポイ捨てを禁止し、たばこを吸う人も吸わない人も快適に過ごせるまちの実現をめざします。



みなとタバコルールキャンペーンの様子

③ 環境美化の推進

快適な居住環境を確保するため、地域住民・事業者・学校など、多様な主体との連携・協働によるまちの美化活動を推進します。

また、美化活動への参加促進に向けて、参加者同士が親睦を深めることができる交流の機会を創出し、参加を継続できるような仕組みづくりを推進していきます。



芝浦港南地区安全・美化協議会によるクリーンアップキャンペーンの様子

分野別計画からの再掲事業（芝浦港南地区）

港区基本計画・分野別計画と地区版計画書の関連や整合を図るため、港区基本計画・分野別計画に掲載されている主な取組のうち、芝浦港南地区において実施する内容を掲載します。

区民向け住宅の供給及び有効活用 重点課題 5 〔基本政策 1-政策 1-施策⑤〕 P. 71、P. 339

内容	第二東西連絡道路の計画に伴い、カナルサイド高浜の建替えを行い、新たな施設の整備を含む複合施設として整備します。泉岳寺駅地区第二種市街地再開発事業の施行に伴い、シティハイツ車町の建替えを行い、新たな施設として国際・文化交流拠点を整備します。			
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値
		令和 2(2020)年度	令和 5(2023)年度	令和 8(2026)年度末
	建替え住宅の整備戸数	—	シティハイツ高浜 20 戸 (令和 5 年度竣工)	シティハイツ車町 76 戸 (令和 6 年度竣工)
年次計画 (スケジュール)	前期			
	令和 3(2021)年度	令和 4(2022)年度	令和 5(2023)年度	計
	シティハイツ高浜			シティハイツ高浜 20 戸
	シティハイツ車町			シティハイツ車町 建設中
事業費	441,096 千円	1,428,290 千円	4,554,258 千円	6,423,644 千円
				1,125,477 千円

内容	自動車と歩行者の通行空間を分離し、歩行者の安全を確保するとともに、防災機能やバリアフリーに配慮し、誰もが安全で安心に移動できるゆとりある歩道の整備を進めます。自転車の走行空間について検討し、歩行者と自転車の安全性確保にも配慮します。			
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値
		令和 2(2020)年度	令和 5(2023)年度	令和 8(2026)年度末
	歩道の設置及び改良延長	84,283m	87,020m	89,895m
年次計画（スケジュール）	前期			
	令和 3(2021)年度	令和 4(2022)年度	令和 5(2023)年度	計
			虎ノ門一丁目（78m）	完了
		補助 7 号線（桜田通り区間）（445m）		工事中
	三田一丁目 （中之橋～一之橋）（370m）			設計完了
	三田一丁目 （赤羽橋～中之橋）（325m）			設計完了
	麻布十番一・二丁目（468m）			完了
			補助 9 号線（麻布運動場区間）（322m）	設計完了
			南麻布四丁目（582m）	設計完了
		補助 7 号線（愛育クリニック区間）（340m）		設計完了
			六本木二丁目（244m）	完了
			六本木六丁目（84m）	完了
			六本木七丁目（405m）	設計完了
	赤坂四丁目（483m）			完了
			赤坂六丁目（97m）	完了
	北青山二丁目（324m）			完了
	南青山七丁目（175m）			設計完了
			元赤坂一丁目（356m）	完了
			白金六丁目（300m）	完了
			高輪一丁目（130m）	設計中
			高輪四丁目（130m）	設計完了
			芝浦三丁目（303m）	完了
			整備（完了） 2,737m	整備（完了） 2,875m
			設計（完了） 8 路線	設計（完了） 1 路線
事業費	436,934 千円	93,805 千円	1,032,298 千円	1,563,037 千円

※補助 7 号線（桜田通り区間）、補助 7 号線（愛育クリニック区間）、補助 9 号線（麻布運動場区間）の事業費は、「都市計画道路の整備」の項（P. 339）に計上しています。

電線類地中化の推進 重点課題 2 〔基本政策 1-政策 2-施策①〕 P. 77、P. 341

内容	都市防災機能の強化や安全・安心で快適な歩行空間の創出、美しい街並み景観の形成などを図るため、電線類地中化に優先的に取り組む地域や路線を示し、電線類地中化を計画的に推進します。				
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値	
		令和 2(2020)年度	令和 5(2023)年度	令和 8(2026)年度末	
	電線類地中化の整備延長	50.5km	51.9km	53.6km	
年次計画（スケジュール）	前期				後期
	令和 3(2021)年度	令和 4(2022)年度	令和 5(2023)年度	計	令和 6(2024)～ 8(2026)年度
	補助 7 号線(桜田通り区間)(445m)			設計中	完了
	補助 7 号線(愛育クリニック区間)(340m)			設計中	工事中
	補助 9 号線(麻布運動場区間)(322m)			設計中	工事中
	芝二丁目 (325m)			工事中	完了
	浜松町一丁目 (500m)			設計中	工事中
	虎ノ門一丁目 (78m)			完了	
	新橋四丁目 (435m)			設計中	工事中
	三田一丁目(中之橋～一之橋) (370m)			設計中	工事中
	三田一丁目(赤羽橋～中之橋) (325m)			設計中	工事中
	芝公園二丁目 (365m)			工事中	工事中
	六本木二丁目 (244m)			完了	
	六本木七丁目 (405m)			完了	
	東麻布二丁目 (364m)			工事中	完了
			南麻布四丁目 (582m)	設計完了	工事中
	元赤坂一丁目 (356m)			完了	
	赤坂六丁目 (97m)			完了	
	南青山七丁目 (175m)			工事中	完了
			赤坂五丁目 (390m)	設計中	工事中
	白金台一丁目 (510m)			工事中	完了
			高輪一丁目 (130m)	設計中	工事中
	芝浦三丁目① (303m)			完了	
			芝浦三丁目② (200m)	設計中	工事中
事業費	765,983 千円	1,086,054 千円	1,367,214 千円	3,219,251 千円	3,925,893 千円

※補助 7 号線（桜田通り区間）、補助 7 号線（愛育クリニック区間）、補助 9 号線（麻布運動場区間）の事業費は、「都市計画道路の整備」の項（P. 339）に計上しています。

内容	道路幅員が狭く歩道の整備が困難な区民の日常生活に密着した道路において、歩行者優先の安全で安心な通行空間の確保と交通事故防止のため、歩行者の通行帯をカラー化するなど、歩行者と自動車などが共存できる道路整備を推進していきます。			
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値
		令和 2(2020)年度	令和 5(2023)年度	令和 8(2026)年度末
	歩車共存道路の整備延長	4, 278m	—	4, 708m
年次計画（スケジュール）	前期			
	令和 3(2021)年度	令和 4(2022)年度	令和 5(2023)年度	計
			白金一丁目（360m） ———▶	設計中
			芝浦二丁目（70m） ———▶	設計中
事業費	—	—	12, 574 千円	12, 574 千円

内容	5 年ごとに実施している定期点検結果に基づき、橋りょうの架替えや耐震補強工事を計画的に行い、安全で円滑な道路交通を確保するとともに災害時の避難路も確保します。橋りょうの架替えにおいては、周辺の景観と調和したデザインとなるよう整備を行っていきます。			
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値
		令和 2(2020)年度	令和 5(2023)年度	令和 8(2026)年度末
	橋りょうの架替え及び改良（耐震補強）工事の数	24 橋	26 橋	30 橋
年次計画（スケジュール）	前期			
	令和 3(2021)年度	令和 4(2022)年度	令和 5(2023)年度	計
	【架替え】 五之橋		————▶	工事中
		香取橋	————▶	工事中
	新芝浦橋（事業者施行）		————▶	工事中
	【耐震補強】 新浜橋			完了
	芝浦橋（修正設計） ———▶	————▶	————▶	完了
事業費	174, 557 千円	332, 299 千円	470, 497 千円	977, 353 千円

自転車走行空間整備の推進 重点課題3 〔基本政策1-政策2-施策①〕 P.77、P.343

内容	「港区自転車利用環境整備方針」に基づき、安全・安心で快適な自転車利用環境の整備を推進します。警察や国道、都道の管理者等と連携し、自転車専用通行帯や自転車ナビマーク等により、歩行者・自転車・自動車を分離した自転車走行空間を整備します。			
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値
		令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
	自転車ネットワークの整備	26.75km	35.05km	43.45km
年次計画（スケジュール）	前期			
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	計
	2.9km	2.1km	3.3km	8.3km完了
	6.5km			6.5km設計
事業費	61,799千円	32,988千円	50,597千円	145,384千円

品川駅改良に伴う事業の推進 重点課題3 〔基本政策1-政策2-施策④〕 P.83、P.346

内容	羽田空港の国際化やリニア中央新幹線の整備により、広域的なアクセス性や交通の拠点性が高まる品川駅で、連続立体交差事業や鉄道駅総合改善事業を推進することにより、来訪者にも分かりやすく、利便性の高い駅空間の形成や、複雑な乗換動線を解消します。			
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値
		令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
	品川駅の改良として実施される事業数	1事業（事業中）	2事業（事業中）	2事業（事業中）
年次計画（スケジュール）	前期			
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	計
	連続立体交差事業及び鉄道駅総合改善事業2事業（事業中）	連続立体交差事業及び鉄道駅総合改善事業2事業（事業中）	連続立体交差事業及び鉄道駅総合改善事業2事業（事業中）	連続立体交差事業及び鉄道駅総合改善事業2事業（事業中）
事業費	741,430千円	1,166,000千円	1,196,000千円	3,103,430千円

内容	新築・改築予定の区有施設や民間事業者等との協定により、災害時におけるトイレ、主にマンホールトイレの設置を推進します。災害時に区民避難所となる区立小・中学校及び区有施設等、公園や児童遊園にも計画的に設置するとともに、周知を図ります。			
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値
		令和 2(2020)年度	令和 5(2023)年度	令和 8(2026)年度末
	マンホールトイレの基数	468 基	514 基	－
年次計画（スケジュール）	前期			
	令和 3(2021)年度	令和 4(2022)年度	令和 5(2023)年度	計
	令和 6(2024)～ 8(2026)年度			
	埠頭公園 7 基	芝五丁目複合施設 4 基 赤羽小学校新校舎 12 基	赤坂中学校新校舎 10 基 カナルサイド高浜 3 基 （仮称）神応いきいきプ ラザ等複合施設 10 基	46 基
事業費	－	－	－	－

※事業費は、各施設の事業費に含め、別途計上しています。

内容	港資源化センターの処理能力の向上、性能水準の保持、作業環境の改善を図るため、設備の更新と選別機能の強化を行うとともに、維持管理コストの低減と平準化を図ります。また、小・中学校の環境学習や海外からの視察受入等に活用できる PR 手法を検討します。			
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値
		令和 2(2020)年度	令和 5(2023)年度	令和 8(2026)年度末
	設備の整備状況	－	完成 （令和 4 年度竣工）	－
年次計画（スケジュール）	前期			
	令和 3(2021)年度	令和 4(2022)年度	令和 5(2023)年度	計
	令和 6(2024)～ 8(2026)年度			
				完成
事業費	169,407 千円	258,075 千円	－	427,482 千円

内容	区民が気軽に水辺空間に親しめるよう、内部護岸の上部に舗装や照明のほか、植栽やベンチなどの休養施設を順次整備し、運河沿緑地として開放します。また、橋りょうにより分断されている運河沿緑地を連続化し、水辺の散歩道としてのネットワーク形成を推進します。			
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値
		令和 2(2020)年度	令和 5(2023)年度	令和 8(2026)年度末
	水辺の散歩道の整備延長	9,080m	9,080m	9,130m
年次計画（スケジュール）	前期			
	令和 3(2021)年度	令和 4(2022)年度	令和 5(2023)年度	計
	令和 6(2024)～ 8(2026)年度			
		竹芝橋北（50m）		設計 50m
事業費	－	13,200 千円	500 千円	13,700 千円

遮熱性舗装等の推進 重点課題3 〔基本政策2-政策7-施策④〕 P.131、P.349

内容	ヒートアイランド現象の緩和の一環として、道路において路面温度の低減効果が期待できる遮熱性舗装やアスファルト内に雨水浸透効果のある保水性舗装の整備を推進します。区内のホットエリアを中心に、事業者に対し遮熱性舗装の整備を指示、誘導していきます。			
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値
		令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
	遮熱性舗装等の面積	124,991 m ²	137,356 m ²	154,737 m ²
年次計画（スケジュール）	前期			後期
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	計
			新橋四丁目(1013号線) (1,002 m ²)	完了
			虎ノ門一丁目(1012号線) (780 m ²)	完了
		補助7号線（愛育クリニック区間） (2,380 m ²)		設計完了
			六本木七丁目(1106号線) (6,742 m ²)	設計完了
	赤坂四丁目 (583・588号線) (2,140 m ²)			完了
			赤坂六丁目(874号線) (660 m ²)	完了
			北青山二丁目(1044号線) (3,900 m ²)	完了
			元赤坂一丁目(1042号線) (2,017 m ²)	完了
			芝浦四丁目(1153号線) (1,866 m ²)	完了
			港南二丁目(1134号線) (2,257 m ²)	設計完了
事業費	—	—	253,617千円	253,617千円
				287,522千円

※赤坂四丁目（583・588号線）、補助7号線（愛育クリニック区間）、虎ノ門一丁目（1012号線）、六本木七丁目（1106号線）の事業費は、「歩道の整備」の項（P.340）に計上しています。

政策のめざす方向性

区民、企業、大学など多様な主体と連携し、あらゆる世代のコミュニティの場で活動の中心になって活躍できる人材の育成をめざします。

また、水辺や歴史・文化などの魅力ある資源を活用しながら、多世代が交流する機会の創出や地域の魅力を高めることで地域の活性化を図ります。

成果指標

成果指標名	現状値	(中間目標値)		計画目標値
	令和元 (2019)年度	令和4 (2022)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度末
政策 1 地域コミュニティ活動に参加している区民の割合	47.2%※	51%	55%	57%

※出典：港区基本計画・芝浦港南地区版計画書に関する区民意識調査（令和元(2019)年9月）

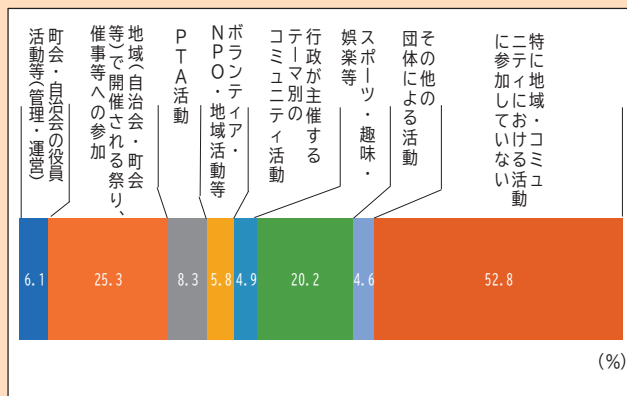
SDGsのゴールとの関係



芝浦港南地区の現状

町会・自治会等の地域活動への参加促進

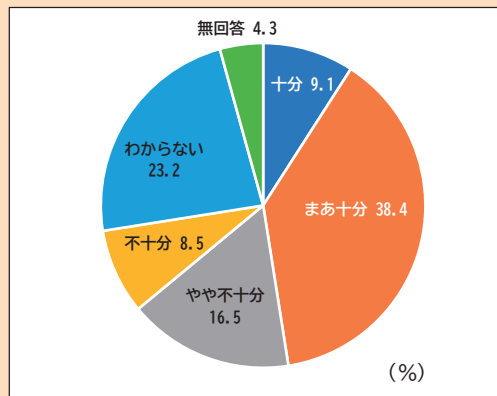
大規模マンションの建設などに伴い、新たな住民が増加していますが、町会・自治会をはじめとした地域活動への参加率が低い現状があります。



出典：港区基本計画・芝浦港南地区版計画書に関する区民意識調査（令和元(2019)年9月）

コミュニティ活動の場

コミュニティ活動のための多様な場と機会の必要性について、「十分」「まあ十分」と感じている地域住民は4割いますが、「不十分」「やや不十分」と感じている住民も2割います。



出典：第32回 港区民世論調査（令和2(2020)年3月）

政策体系

政策 1 多様な主体との連携により、持続可能なコミュニティを創出する

施策(1) 地域特性を生かし、地域間の持続可能なコミュニティを構築するとともに多様な交流を促進する

成果指標名	現状見込値	中間目標値(前期)	計画目標値
	令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
講座受講生の地域への愛着度	70%	77%	84%

- 主な取組
- ①水辺フェスタ 
 - ②歴史と文化がつなぐ地域交流事業 
 - ③SKDs 学びのまちプロジェクト 

施策(2) 地域資源を活用し、地域におけるにぎわいを創出する

成果指標名	現状見込値	中間目標値(前期)	計画目標値
	令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
芝浦港南地区総合支所 Twitter のフォロワー数	300 人	1,000 人	1,800 人

- 主な取組
- ①みなとパーク芝浦ふれあい交流事業 
 - ②魅力的な施設の利活用
 - ③お台場ふるさとの海づくり

地域事業

主な取組のうち、年次の計画を立て、目標を明確にして取り組む事業です。
令和3年度から令和5年度までの事業計画表を掲載しています。

事業名の隣に  が付いているものが地域事業です。

施策
(1)

地域特性を生かし、地域間の持続可能なコミュニティを構築するとともに多様な交流を促進する

目標・期待する成果

地域の課題を地域で解決するため、地域資源を生かした多様な主体との連携を積極的に促進し、地域コミュニティの活性化を図ります。

SDGsのゴールとの関係



成果指標

成果指標名	現状見込値	中間目標値(前期)	計画目標値
	令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
講座受講生の地域への愛着度	70%	77%	84%

現状と課題

- 新しい住民が増え、人と人とのつながりが希薄化する中、長く住んでいる地域住民と新たな地域住民、芝浦・海岸、港南、台場の各地域の住民の相互交流の場を提供することにより、コミュニティ形成を支援する必要があります。
- 芝浦港南地区ではこれまで、秋田県にかほ市や福島県柳津町との交流を行っています。両自治体は港区にはない豊かな自然を有しており、農作業やそば打ちなど、子どもたちにとって、都心では味わえない貴重な体験ができるため、今後も引き続き交流の継続が必要です。
- 近年、地域住民相互のつながりの希薄化、高齢化の進展により地域活動の担い手が減少しているため、地域における新たな担い手の育成等に取り組む必要があります。
- 多様化する地域の課題に迅速かつ的確に対応していくため、企業や大学等との協働により、互いが有する資源を活用した事業の推進が必要です。

主な取組

① 水辺フェスタ

運河や海辺などの水辺資源を活用したイベントの実施により、芝浦・海岸二・三丁目地域、港南地域、台場地域の各地域住民のつながりを深めるとともに、長く住んでいる地域住民と新たな地域住民との交流の場を創出します。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和2 (2020)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度	計
地域住民同士の コミュニティ 形成	地域対抗 ボートレース 大会等の中止※	地域対抗 ボートレース 大会等の実施 (1回)	地域対抗 ボートレース 大会等の実施 (1回)	地域対抗 ボートレース 大会等の実施 (1回)	地域対抗 ボートレース 大会等の実施 (3回)
事業費（千円）		5,217	5,217	5,217	15,651

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業を中止しました。



3 地域対抗のボートレース



地域住民の交流

② 歴史と文化がつなぐ地域交流事業

芝浦港南地区と交流のある秋田県にかほ市や福島県柳津町とのつながりを生かし、子どもたちをはじめとした住民同士がお互いの地域を訪れ、文化や歴史にふれる機会を提供します。

また、互いの地域の魅力や歴史を理解し、相互の魅力をPRすることにより、更なる相互の地域発展をめざします。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和2 (2020)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度	計
秋田県にかほ市 と福島県柳津町 との交流の 促進	秋田県にかほ市 との交流事業の 休止※	秋田県にかほ市 との交流事業の 実施 (1回)	秋田県にかほ市 との交流事業の 実施 (2回)	秋田県にかほ市 との交流事業の 実施 (2回)	秋田県にかほ市 との交流事業の 実施 (5回)
	福島県柳津町 との交流事業の 実施	福島県柳津町 との交流事業の 実施 (2回)	福島県柳津町 との交流事業の 実施 (2回)	福島県柳津町 との交流事業の 実施 (2回)	福島県柳津町 との交流事業の 実施 (6回)
事業費（千円）		1,099	1,257	1,257	3,613

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業を休止しました。



湿原を散策し自然体験



赤べこ（牛の置物）の絵付けの体験

にかほ市との交流

平成22(2010)年は、白瀬嘉隊長率いる日本で初めての南極探検隊が芝浦の地を出港して100年に当たりました。

これをきっかけとして、芝浦港南地区総合支所と白瀬隊長の出身地である秋田県にかほ市とで、相互の地域文化交流促進及び子どもの健全育成に寄与する交流事業を実施しています。



柳津町との交流

福島県柳津町が、お台場15周年花火大会の花火師を、復興交流の花火大会に招いたことがきっかけとなり、柳津町と台場地域の交流が始まりました。

例年、夏は台場地域の子どもたちが柳津町を訪問し、冬は台場地域に柳津町の子どもたちが訪れる交流を行っています。



③ SKDs※学びのまちプロジェクト



新規事業

施策

(1)

若年層を対象に企業や大学等と連携し、地域活動や地域コミュニティに関する意識を高め、地域の魅力等について学ぶための講座やワークショップを実施します。講座等を通じて、地域活動やボランティア活動を担う人材の育成を支援します。

地域特性を生かし、地域間の持続可能なコミュニティを構築するとともに多様な交流を促進する

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和2 (2020)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度	計
地域における 担い手の育成	—	企業や大学等と 連携した講座 ワークショップ の検討・実施 (4回)	企業や大学等と 連携した講座 ワークショップ の実施 (4回)	企業や大学等と 連携した講座 ワークショップ の実施 (4回)	企業や大学等と 連携した講座 ワークショップ (12回)
事業費（千円）		2,917	4,328	4,328	11,573

※SKDs

S「芝浦」、K「海岸二・三丁目、港南」、D「台場」、s「Sustainable（持続可能な）」を意味しています。



バイエリア講座の様子



小学生向け授業の様子

施策
(2)

地域資源を活用し、地域におけるにぎわいを創出する

目標・期待する成果

地域が持つ資源や魅力を生かした取組により、地域のにぎわいを創出するとともに、地域文化の形成につなげます。

SDGsのゴールとの関係



成果指標

成果指標名	現状見込値	中間目標値(前期)	計画目標値
	令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
芝浦港南地区総合支所 Twitterのフォロワー数	300人	1,000人	1,800人

現状と課題

- 「みなとパーク芝浦」は、多くの利用者が訪れる複合施設です。この施設を地域交流の場として有効に活用し、地域に愛される空間としていくための方策を検討していく必要があります。
- 令和2(2020)年4月、地域の歴史や文化を知る上で貴重な地域資源である「伝統文化交流館」が開館しました。今後は、港区指定有形文化財としての価値の保全と、文化芸術活動及び地域活動の拠点として利活用される施設づくりが求められます。
- 地域への愛着をより一層深めてもらうため、地域の資源や人材を活用し、地域の魅力を発信していく必要があります。

主な取組

① みなとパーク芝浦ふれあい交流事業

みなとパーク芝浦の各施設等や伝統文化交流館が連携し、イベント等の開催を通じて交流することで、世代を超えた地域コミュニティの醸成及び地域の活性化を図ります。

また、地域に親しまれ、誰もが気軽に立ち寄れる魅力的な施設をめざし、みなとパーク芝浦の共用部であるアトリウム、区民ギャラリー、区民協働スペース等を、地域における世代間交流の場として提供します。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和2 (2020)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度	計
地域の世代間交流 やコミュニティ 形成	みなとパーク芝浦 各施設等と連携 したイベントの 中止※ 展示の実施	みなとパーク芝浦 各施設等と 連携したイベント 等の実施 (1回)	みなとパーク芝浦 各施設等と 連携したイベント 等の実施 (1回)	みなとパーク芝浦 各施設等と 連携したイベント 等の実施 (1回)	みなとパーク芝浦 各施設等と 連携したイベント 等の実施 (3回)
事業費（千円）		2,700	3,150	3,150	9,000

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、事業を中止しました。



みなとパーク芝浦フェスティバルの様子

みなとパーク芝浦

「みなとパーク芝浦」は、芝浦港南地区総合支所、消費者センター、介護予防総合センター「ラクっちゃ」、男女平等参画センター「リーブラ」、港区スポーツセンターなどが入る港区最大規模の複合施設です。

また建物は、基本構想の段階から区民参画により計画を策定し、東日本大震災を踏まえた防災機能の強化を図ったほか、建物への様々な先進技術の導入や国産木材を積極的に活用した二酸化炭素削減への取組など、区民の皆さんが未永く誇れる施設です。



② 魅力的な施設の利活用

地区内には、港区最大規模の複合施設である「みなとパーク芝浦」や、令和2(2020)年に開設した「伝統文化交流館」など、特色ある区有施設があります。各施設の特徴を生かした地域のコミュニティ形成に寄与する取組や、地域住民の交流の機会を創出し、SNSなどのツールを活用して効果的に発信していきます。



伝統文化交流館外観



伝統文化交流館内の交流の間

伝統文化交流館



伝統文化交流館は、港区指定有形文化財である「旧協働会館」を保存・活用して、様々な伝統文化や地域の文化に関する事業を行うことにより、伝統や文化を次世代へとつないでいく施設です。

旧協働会館は、昭和11(1936)年に芝浦花柳界の見番※として建設された、都内に現存する唯一の木造見番建造物です。戦後は東京都により港湾労働者の宿泊所として使用されていましたが、平成12(2000)年3月に老朽化のため施設が閉鎖されました。しかし、保存・活用を望む地域の声を受け、区では保存整備工事を進め、令和元(2019)年12月に竣工し、令和2(2020)年4月に伝統文化交流館として開館しました。

※「置屋」「料亭」「待合」からなる「三業」を取りまとめ、芸者の取次や遊興費の清算をする施設です。

③ お台場ふるさとの海づくり

お台場の海を住民一人ひとりにとっての「ふるさとの海」として愛着を深めてもらうため、海苔づくり等の体験する機会をととして、地域の魅力を高めていく取組を実施します。

そして、海辺を通じた取組により、地域コミュニティの活性化を図るとともに、地域文化の形成につなげていきます。



海苔の摘み取りの様子



海苔網を引き上げている様子

その他「お台場」に関する取組

お台場プラージュ



「泳げる海、お台場」の実現に向けた取組の一環として、誰もが親しめるお台場の海をめざして、主に地域住民で構成する「お台場プラージュ実行委員会」との協働により、平成26(2014)年から海水浴を開催しています。

また、令和6(2024)年オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市であり、「泳げるセーヌ」の復活をめざすフランスのパリ市と連携し、都心での海水浴事業の促進に向けて両区市で相互に協力しています。実施に当たっては、大腸菌等の流入による水質悪化を防ぐために水中スクリーンの設置や台場海域の大腸菌の状況を事前に把握する「お台場海水浴予報システム」を構築・運用し、衛生面の安全性の向上を図っています。

政策のめざす方向性

乳幼児とその保護者の健康を守るとともに、安心して生み育てられる環境を確保し、妊娠期から切れ目なく支援できるように体制を確立します。

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、交流の場づくりをととして地域住民が互いに支え合うセーフティネットワークづくりを推進します。

成果指標

成果指標名	現状値	(中間目標値)		計画目標値
	令和元 (2019)年度	令和4 (2022)年度	令和7 (2025)年度	令和8 (2026)年度末
政策 1 近所の方と交流がある区民の割合	43.3%※	47%	51%	52%

※出典：港区基本計画・芝浦港南地区版計画書に関する区民意識調査（令和元(2019)年9月）

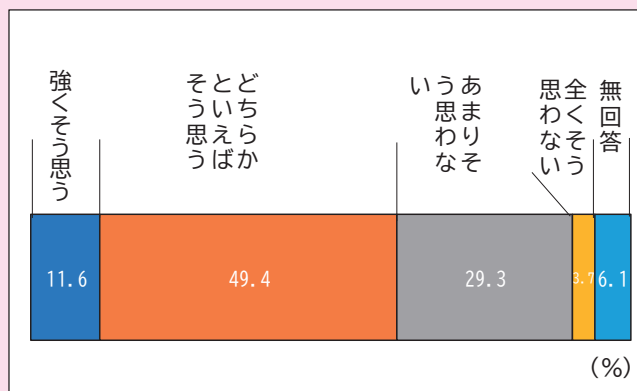
SDGsのゴールとの関係



芝浦港南地区の現状

子育て支援の充実度

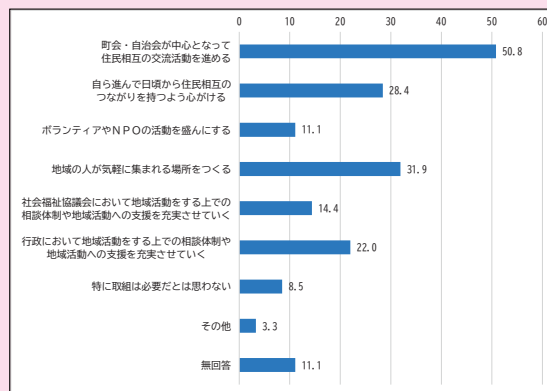
子育て家庭に対する支援が充実していると感じている住民は6割いるものの、現状の子育て支援に満足していない住民も3割程度います。



出典：第32回 港区民世論調査（令和2(2020)年3月）

地域での支え合いについて

地域で起こる様々な生活の課題について、住民同士が自主的に助け合える支援が必要と感じられています。



出典：港区保健福祉基礎調査 報告書1（令和2(2020)年3月）

※港区在住の65歳以上の方を対象とした調査です。

政策体系

政策 1 人と人との支え合える、多様性にあふれる地域社会を実現する

施策(1) 地域における子育て力の向上と子育て家庭への支援を充実する

成果指標名	現状見込値	中間目標値(前期)	計画目標値
	令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
「子育てあんしんプロジェクト」の参加者数	1,400人※	4,600人	4,800人

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、定員数を減らして事業を実施しています。

主な取組 ①子育てあんしんプロジェクト

施策(2) 誰もが心豊かに生活できる地域社会づくりを進める

成果指標名	現状見込値	中間目標値(前期)	計画目標値
	令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
「みずベネット」の参加者数	160人	300人	440人

主な取組 ①地域での支え合いの充実

地域事業

主な取組のうち、年次の計画を立て、目標を明確にして取り組む事業です。
令和3年度から令和5年度までの事業計画表を掲載しています。

事業名の隣に  が付いているものが地域事業です。

施策
(1)

地域における子育て力の向上と子育て家庭への支援を充実する

目標・期待する成果

安心して出産・子育てができるように、地域の中で子どもを見守り育てる環境づくりを推進します。

■SDGsのゴールとの関係



成果指標

成果指標名	現状見込値	中間目標値(前期)	計画目標値
	令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
「子育てあんしんプロジェクト」の参加者数	1,400人※	4,600人	4,800人

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、定員数を減らして事業を実施しています。

現状と課題

- セキュリティの高い集合住宅や気軽に交流する機会が少ない高層マンション等が増加し、近隣の人間関係が形成されにくく、身近に子育てに関する些細な悩みを相談する機会が減っています。
- 身近な場所で多様化する子育ての相談に早期かつ丁寧に対応し、社会的な孤立を防ぎ、安全で安心して地域の中で育てられるよう、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援が必要です。
- 人と人とのつながりが希薄化しているため、乳児期に月齢が近い子どもを持つ保護者が集まり、子育ての悩みを共有し、情報交換ができる機会が求められています。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭内に閉じこもりがちな親子が増えています。子育ての不安や悩みを誰にも相談できず、ストレスを抱える保護者も少なくありません。このような保護者に対する心のケアが必要です。

主な取組

① 子育てあんしんプロジェクト

保健師・助産師・管理栄養士・臨床心理士からなるプロジェクトチームが芝浦港南地区の児童施設等に出向き、身長、体重測定、育児や保護者自身の悩みなどの個別相談に応じます。妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援をすることで、子育てに関する様々な不安や悩みの軽減を図るとともに、感染症等における子どもの健やかな成長や子育て中の保護者の心身の健康を支えます。

さらに、本事業により子育て世代の交流の場をつくることで、子育てを通じた地域での仲間づくりや子育て世帯間、家庭間のネットワークづくりを促進し、家庭や地域の子育て力の向上を支援します。

また、より幅広く、きめ細かに育児相談に対応できるよう、プロジェクトチームの体制強化に取り組むとともに、地域の医療機関等とも連携を図りながら、地域特性や保護者の意見、様々な子育てのニーズに対応していきます。

全体計画目標 令和8 (2026)年度末	現状 令和2 (2020)年度見込	年次計画（スケジュール）			
		令和3 (2021)年度	令和4 (2022)年度	令和5 (2023)年度	計
家庭や地域の子育て力の向上	育児に関する計測及び相談※ (55回)	育児に関する計測及び相談 (75回)	育児に関する計測及び相談 (75回)	育児に関する計測及び相談 (75回)	育児に関する計測及び相談 (225回)
	育児に関する交流の機会の創出※ (10回)	育児に関する交流の機会の創出 (15回)	育児に関する交流の機会の創出 (15回)	育児に関する交流の機会の創出 (15回)	育児に関する交流の機会の創出 (45回)
事業費（千円）		9,543	9,543	9,543	28,629

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2(2020)年4月から6月までは休止しました。



子育てあんしんプロジェクトの様子

施策
(2)

誰もが心豊かに生活できる地域社会づくりを進める

目標・期待する成果

高齢者が地域で安心して暮らせるように、交流の機会を創出するとともに、地域で支え合う体制づくりを進めます。

■SDGsのゴールとの関係



成果指標

成果指標名	現状見込値	中間目標値(前期)	計画目標値
	令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
「みずベネット」の参加者数	160人	300人	440人

現状と課題

- 芝浦港南地区は、大規模マンションの建設などにより、ファミリー層が増える一方で、高齢化に伴い、ひとり暮らし高齢者も増えていくことが予測されています。8050問題など家庭が抱える課題は多様化・複雑化しており、誰もが安全で安心して暮らせるまちとして、子育て世帯だけでなく、高齢者世帯についても生活を支えるための支援体制の構築が必要です。
- 地域におけるつながりの減少や家族関係の希薄化が進む中、誰もが安心して生活できるまちの実現には、行政だけでなく、地域全体で支え合っていくことが大切です。住民同士が助け合うことができる地域社会づくりが求められています。
- 核家族化の進展に伴い、従来地域内で行われていた子どもと高齢者との交流が失われてきています。子どもの社会性を育むとともに高齢者の社会との関わりを保ち、孤立化を防ぐためにも世代間で交流できる場づくりが必要です。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、自粛生活が続き、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯への地域での見守り、支え合いがより一層重要になっています。

主な取組

① 地域での支え合いの充実

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活し続けるため、高齢者同士がお互いに支え合い、助け合いながら高齢者の多様なニーズに対応できるよう、高齢者相談センター（地域包括支援センター）やふれあい相談室など地域で活動する様々な関係機関との連携を図ります。

また、高齢者が孤立せず元気でいきいきと暮らしていけるよう、日常の見守り、声掛け活動に加え、地域における世代間交流を促進し、高齢者の豊富な知識、経験などを生かした、喜びといきがいとなるような居場所を提供していきます。



みずベネットの様子

みずベネット



高齢者等が住み慣れた地域で孤立することなく安心して生活できるよう、交流の場を設け、地域住民が互いに支え合うセーフティネットワークづくりを目的としています。

地域住民のふれあいの場として、毎月第4水曜日に開催しており、事業の前半は専門家や医師による健康講座等の情報提供を行い、後半は季節の小物作りなどを行います。

健康講座や小物作り等だけでなく、みずベネットカフェとして音楽会等を開催することでネットワークを広げるとともに、新たな参加者の発掘も行っています。

なお、みずベネットの参加費は1回につき100円です。

分野別計画からの再掲事業（芝浦港南地区）

港区基本計画・分野別計画と地区版計画書の関連や整合を図るため、港区基本計画・分野別計画に掲載されている主な取組のうち、芝浦港南地区において実施する内容を掲載します。

放課後における児童の健全育成の推進 **重点課題 5** **〔基本政策 5-政策 15-施策①〕** P. 201、P. 351

内容	増加する学童クラブ需要に応えるため、学童クラブの弾力的な運営や施設の改善を行うほか、新規開設による定員拡大等に取り組みます。安全・安心な放課後の居場所を確保し、児童の心身ともに健やかな育ちを支援するため、学童クラブ事業の質の向上を図ります。			
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値
		令和 2(2020)年度	令和 5(2023)年度	令和 8(2026)年度末
	学童クラブ設置数	36 クラブ	37 クラブ	37 クラブ
	学童クラブ定員数	3,309 人	3,479 人	3,479 人
年次計画（スケジュール）	前期			
	令和 3(2021)年度	令和 4(2022)年度	令和 5(2023)年度	計
	—	設置 1 クラブ (放課GO→クラブしばはま)	移行 1 クラブ (三光学童クラブ→(仮称)神応学童クラブ)	設置 1 クラブ 移行 1 クラブ
	学童クラブ定員 3,309 人	学童クラブ定員 3,469 人 定員増 160 人	学童クラブ定員 3,479 人 定員増 10 人	学童クラブ定員 3,479 人 定員増 170 人
事業費	—	—	—	—

※学童クラブ定員は、各年度4月1日現在のものです。

※放課GO→クラブしばはまの事業費（整備費）は、「学校施設の充実」の項（P. 352）に計上しています。

※(仮称)神応学童クラブの事業費（整備費）は、「いきいきプラザ等の充実」の項（P. 354）に計上しています。

※放課GO→クラブあかばねの事業費（整備費）は、「学校施設の充実」の項（P. 352）に計上しています。

※東麻布学童クラブの事業費（整備費）は、整備計画策定前のため、未定です。

特別支援教育体制の整備 **重点課題 4** **〔基本政策 5-政策 16-施策②〕** P. 215、P. 352

内容	障害のある人もない人も、全ての人がともに支え合い、誰もが生き生きとした人生を送ることができる共生社会の実現のため、障害のある児童・生徒の生活基盤の核となる特別支援学級を必要とする全ての地域に設置します。			
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値
		令和 2(2020)年度	令和 5(2023)年度	令和 8(2026)年度末
	特別支援学級を 設置した小・中学校数	小学校 4 校 中学校 4 校	小学校 6 校 中学校 6 校	—
年次計画（スケジュール）	前期			
	令和 3(2021)年度	令和 4(2022)年度	令和 5(2023)年度	計
	小学校 1 校設置 (高輪地域)	小学校 1 校設置 中学校 2 校設置 (高輪地域、台場地域)	—	小学校 2 校設置 中学校 2 校設置
	55,920 千円	—	—	55,920 千円
事業費	—	—	—	—

学校施設の充実 重点課題5 【基本政策5-政策16-施策⑤】 P.221、P.352

内容	より良い教育環境と安全・安心な教育施設を確保するために、校舎等の建設・増改築や普通教室の増設等の計画的な改修、修繕を行うとともに、改築に合わせて感染症対策を含めた地震等災害時の避難場所における設備の充実を図ります。			
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値
		令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
学校及び教室の整備数		小学校 18校 318教室 中学校 10校 69教室	小学校 19校 330教室 中学校 10校 69教室	小学校 19校 332教室 中学校 10校 75教室
年次計画（スケジュール）	前期			
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	計
	【幼稚園】 中之町幼稚園			【幼稚園】 完成(改築)1園 (中之町)
	赤羽幼稚園			改築中1園(赤羽)
	【小学校】 芝浜小学校			【小学校】 完成(建設、改築)2校 (芝浜、赤羽)
	赤羽小学校			改築中1校 (御田)
	御田小学校			
	【中学校】 赤坂中学校			【中学校】 完成(改築)1校 (赤坂)
	<普通教室化改修> 【小学校】 御成門小学校 1教室 赤坂小学校 1教室	御成門小学校 1教室 芝小学校 3教室 高輪台小学校 1教室 麻布小学校 1教室	芝小学校 2教室 白金小学校 1教室 筈小学校 1教室	<普通教室化改修> 【小学校】 7校 12教室
				【中学校】 3校 6教室
事業費	11,310,638千円	11,995,785千円	1,134,059千円	24,440,482千円

学校の情報化の推進 重点課題1 【基本政策5-政策16-施策⑤】 P.221、P.353

内容	国のGIGAスクール構想を踏まえ、児童・生徒に1人1台配備するタブレット端末を活用し、子どもたちの資質・能力を確実に育成する教育を推進します。			
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値
		令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
児童・生徒用デジタル教科書の活用教科数		—	小学校 2教科 中学校 5教科	小学校 2教科 中学校 5教科
年次計画（スケジュール）	前期			
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	計
	児童・生徒用デジタル教科書の導入 (小・中学校2教科)	児童・生徒用デジタル教科書の活用 (小・中学校2教科)	児童・生徒用デジタル教科書の活用 (小学校2教科・中学校5教科)	児童・生徒用デジタル教科書の活用 (小学校2教科・中学校5教科)
事業費	21,599千円	22,679千円	30,261千円	74,539千円

内容	待機児童ゼロを継続するため、保育施設の充実を図ります。また、地域によって保育施設の定員に空きが生じてきている状況を踏まえ、人口動向や社会経済情勢の変化が保育需要に及ぼす影響を注視しながら、保育定員の管理に取り組みます。			
活動指標	指標名	現状見込値 令和 2(2020)年度	中間目標値（前期） 令和 5(2023)年度	計画目標値 令和 8(2026)年度末
	区立認可保育園数	区立認可保育園 21 園	区立認可保育園 22 園	区立認可保育園 22 園
	私立認可保育園数	私立認可保育園 56 園	私立認可保育園 66 園	私立認可保育園 73 園
	認定こども園数	認定こども園 1 園	認定こども園 1 園	認定こども園 5 園
	小規模保育事業所数	小規模保育事業 12 園	小規模保育事業 12 園	小規模保育事業 12 園
	事業所内保育事業所数	事業所内保育事業 1 園	事業所内保育事業 1 園	事業所内保育事業 1 園
	港区保育室数	港区保育室 13 園	港区保育室 11 園	港区保育室 10 園
	認証保育所数	認証保育所 19 園	認証保育所 19 園	認証保育所 19 園
	保育定員	9,033 人	9,763 人	10,375 人
年次計画（スケジュール）	前期			
	令和 3(2021)年度	令和 4(2022)年度	令和 5(2023)年度	計
	—	—	区立認可設置 1 園 （（仮称）神応）	区立認可設置 1 園 （（仮称）神応）
	私立認可設置 3 園 私立認可閉園 1 園	私立認可設置 4 園	私立認可設置 4 園	私立認可設置 11 園 私立認可閉園 1 園
	—	—	—	—
	港区保育室閉園 1 園 （港南四丁目）	港区保育室閉園 1 園 （三光）	—	港区保育室閉園 2 園 （港南四丁目、三光）
	保育定員 9,233 人	保育定員 9,507 人	保育定員 9,763 人	保育定員 9,763 人
事業費	763,206 千円	632,295 千円	1,573,793 千円	2,969,294 千円
				167,781 千円

※保育定員は、各年度 4 月 1 日現在の数値で、上記施設の定員に居宅訪問型保育事業、みなと保育サポートの定員を加えた合計です。

※保育園分園は、1 園として計上しています。

※区立認可設置 1 園（（仮称）神応）の事業費（整備費）は、「いきいきプラザ等の充実」の項（P. 354）に計上しています。

内容	多様で複雑化した福祉課題により迅速に対応するため、あらゆる福祉相談を総合して受け付ける窓口を各総合支所に設置します。			
活動指標	指標名	現状見込値 令和 2(2020)年度	中間目標値（前期） 令和 5(2023)年度	計画目標値 令和 8(2026)年度末
	福祉総合窓口の設置数	—	5 か所 （令和 4 年度完了）	—
年次計画（スケジュール）	前期			
	令和 3(2021)年度	令和 4(2022)年度	令和 5(2023)年度	計
	検討	5 か所設置	—	5 か所設置
	—	—	—	—
事業費	70,527 千円	36,480 千円	—	107,007 千円
				—

小規模多機能型居宅介護施設の整備 **重点課題 5** [基本政策 6-政策 19-施策③] P. 251、P. 355

内容	高齢者が住み慣れた地域で安心して住み続けるためには、在宅で生活するための支援が必要です。高齢者の様態や希望に応じて「通い」「訪問」「泊まり」を組み合わせた介護サービスを提供するため、民設民営により小規模多機能型居宅介護施設を整備します。				
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値	
		令和 2(2020)年度	令和 5(2023)年度	令和 8(2026)年度末	
	小規模多機能型居宅介護施設数及び定員	5 施設 (定員 128 人)	7 施設 (定員 186 人)	9 施設 (定員 244 人)	
年次計画（スケジュール）	前期				後期
	令和 3(2021)年度	令和 4(2022)年度	令和 5(2023)年度	計	令和 6(2024)～ 8(2026)年度
	南青山二丁目 (定員 29 人)			完成	完成 2 施設 (三田一丁目) (令和 8 年度竣工) (東麻布二丁目) (令和 8 年度竣工)
	芝浦四丁目 (定員 29 人)			完成	
	三田一丁目 (定員 29 人)			建設中	
	東麻布二丁目 (定員 29 人)			設計完了	
事業費	9,680 千円	23,990 千円	51,760 千円	85,430 千円	1,027,230 千円

※現状見込値（令和 2(2020)年度）は、令和 3(2021)年 4 月に開設する高輪三丁目施設（定員 29 人）を含みます。
 ※南青山二丁目施設整備の事業費は、「地域生活への移行の促進のための障害者グループホームの設置・整備支援」の項（P. 356）に計上しています。
 ※芝浦四丁目施設（シティハイツ高浜）整備の事業費は、「区民向け住宅の供給及び有効活用」の項（P. 339）に計上しています。
 ※三田一丁目施設（赤羽幼稚園・小学校施設内）整備の事業費は、「学校施設の充実」の項（P. 352）に計上しています。
 ※現状の施設には看護小規模多機能型居宅介護施設 1 施設を含みます。

地域生活への移行の促進のための障害者グループホームの設置・整備支援 **重点課題 5** [基本政策 6-政策 20-施策②] P. 259、P. 356

内容	社会福祉法人や NPO 等民間事業者によるグループホームの設置を支援するため、整備費の助成を行います。開設後は、家賃等を補助することで運営を支援します。また、区の施設整備に併せ、グループホームを整備し、民間事業者を誘致します。				
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値	
		令和 2(2020)年度	令和 5(2023)年度	令和 8(2026)年度末	
	障害者グループホームの設置・整備数	13 施設（定員 84 人）	16 施設（定員 100 人）	—	
年次計画（スケジュール）	前期				後期
	令和 3(2021)年度	令和 4(2022)年度	令和 5(2023)年度	計	令和 6(2024)～ 8(2026)年度
	【知的障害者グループホーム】 南青山二丁目 (定員 5 人)			完成	—
	芝浦四丁目 (定員 6 人)			完成	
	【精神障害者グループホーム】 南青山二丁目 (定員 5 人)			完成	
				完成	
事業費	50,679 千円	414,900 千円	626,425 千円	1,092,004 千円	—

※令和 2(2020)年度の障害者グループホームの設置・整備数は、令和 3(2021)年 4 月に竣工する 1 施設（定員 10 人）を含んでいます。
 ※芝浦四丁目施設（シティハイツ高浜）整備の事業費は、「区民向け住宅の供給及び有効活用」の項（P. 339）に計上しています。

概要

各総合支所では、地域特性や区民のニーズを区政に反映し、地域の課題を地域で解決する仕組みとして区民参画が進められています。区民と区が地域情報や区政情報を共有し、地域課題や区の計画をともに考え、取り組みます。

主な取組

① 参画と協働の推進

芝浦港南地区総合支所はこれまで、区民と顔の見える関係を築き上げ、地域の課題解決に向けた活動をともにを行い、地域の魅力を更に高める事業の実施に取り組んできました。これからも、区民、民間、大学、全国各地域などの芝浦港南地区内外との連携を深め、年齢、性別、国籍などに関わりなく、多様な立場の人とともに、芝浦港南地区がめざすまちの姿の実現に向けて、創意工夫をもって積極的にチャレンジしていきます。

② 効果的な情報発信

区民等が気軽に港区や芝浦港南地区に関する情報を収集できるよう、広報みなとや区ホームページ、地区情報誌、ケーブルテレビ、掲示板などの広報媒体に加え、Twitter や LINE といった SNS やデジタルサイネージなどの多様な情報媒体を活用し、より効率的かつ効果的に情報を発信します。



芝浦港南地区の地区情報誌



芝浦港南地区総合支所の公式 Twitter

③ 新しい生活様式を取り入れた事業運営

新型コロナウイルス感染症の影響により、これまでのように1か所に多くの人が集まって、事業を行うことが必ずしも適切ではない場合があります。そのため、オンラインを活用した事業の実施など、事業の性質に応じて、開催及び運営の方法を検討します。また、人が集まる場合は、新型コロナウイルス感染症等に配慮し、万全の対策を取った上で事業を開催します。

分野別計画からの再掲事業（芝浦港南地区）

港区基本計画・分野別計画と地区版計画書の関連や整合を図るため、港区基本計画・分野別計画に掲載されている主な取組のうち、芝浦港南地区において実施する内容を掲載します。

ICTを活用した誰もがいつでもどこでも手続ができるサービスの実現 **重点課題1** 【基本政策7-政策24-施策①】 P.303、P.357

内容	来庁しなくても、いつでもどこでも、あらゆる行政手続をスマートフォンやパソコンからオンライン申請等ができる環境を整備します。			
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値
		令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
	行政手続全体に占めるオンライン申請が可能な手続の割合	4%	75%	100%
年次計画（スケジュール）	前期			
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	計
	オンライン申請が可能な行政手続 50%	オンライン申請が可能な行政手続 70%	オンライン申請が可能な行政手続 75%	オンライン申請が可能な行政手続 75%
事業費	5,412 千円	5,412 千円	5,412 千円	16,236 千円

台場コミュニティぱらざ大規模改修工事 **重点課題6** 【基本政策7-政策26-施策④】 P.331、P.357

内容	台場コミュニティぱらざは、平成8年に竣工し24年が経過し、設備が老朽化してきていることから、防水改修工事、熱源・空調・衛生機器等の改修工事などを行います。また、安全・安心を促進するため、保育園・児童館等の各施設の配置レイアウトを変更します。			
活動指標	指標名	現状見込値	中間目標値（前期）	計画目標値
		令和2(2020)年度	令和5(2023)年度	令和8(2026)年度末
	施設の整備状況	設計中	完成 (令和5年度竣工)	—
年次計画（スケジュール）	前期			
	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	計
	—	—	—	完成
事業費	50,977 千円	548,924 千円	822,491 千円	1,422,392 千円

※仮施設の事業費は計上していません。

參考資料

1 芝浦港南地区版計画書 策定経過

(1) 「港区バイエリア・パワーアッププロジェクト 地区版計画検討分科会」による検討経過
芝浦港南地区版計画書の策定に向けて、区民参画組織「港区バイエリア・パワーアッププロジェクト 地区版計画検討分科会」において、芝浦港南地区の現状や課題及びその解決策等について議論を行い、その結果を「港区基本計画・芝浦港南地区版計画書策定に向けた提言書」としてとりまとめ、令和2(2020)年3月に区に提出しました。

令和2(2020)年度は、区から芝浦港南地区版計画書の策定経過や提言の反映状況等について報告しました。

●令和元(2019)年度

	開催日	概要
第1回	平成31年 4月24日(水)	○オリエンテーション① ・ 自己紹介 ・ リーダー、サブリーダーの選出 ・ 芝浦港南地区版計画書の概要について
第2回	令和元年 5月22日(水)	○オリエンテーション② ・ 芝浦港南地区総合支所が取り組む地域事業について ・ 学習会及び今後の検討の進め方について
学習会	令和元年 6月23日(日)	○学習会 ・ 芝浦港南地区内の地域資源の見学等
第3回	令和元年 6月26日(水)	○「かがやくまち」(水辺、環境)の提言作成に向けたワークショップ
第4回	令和元年 7月31日(水)	○「かがやくまち」(水辺、環境)の提言内容の検討
第5回	令和元年 8月28日(水)	○「かがやくまち」(地域の安全・安心)、 「にぎわうまち」(地域コミュニティ)の提言作成に向けたワークショップ ○ 区民意識調査結果の中間報告
第6回	令和元年 9月25日(水)	○「かがやくまち」(地域の安全・安心)、 「にぎわうまち」(地域コミュニティ)の提言内容の検討
第7回	令和元年 10月30日(水)	○「にぎわうまち」(地域の魅力)、 「はぐくむまち」(福祉)の提言作成に向けたワークショップ
第8回	令和元年 11月27日(水)	○「にぎわうまち」(地域の魅力)、 「はぐくむまち」(福祉)の提言内容の検討
第9回	令和元年 12月25日(水)	○区民意識調査結果報告 ○提言書案のまとめ
第10回	令和2年 1月29日(水)	○提言書の最終確認
提言式	令和2年 3月27日(金)	○区長に提言書を提出 ※提言式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

●令和2(2020)年度

—	令和2年7月	○リーダー、サブリーダーから意見聴取 (新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた今後の取組について)
第1回	令和2年 11月13日(金)	○芝浦港南地区版計画書(素案)説明



分科会の様子



学習会(まち歩き)の様子



区長に提言書を提出している様子



芝浦港南地区版計画書(素案)説明の様子

(2) 芝浦港南地区版計画書 庁内検討経過

①芝浦港南地区版計画書検討プロジェクトチーム

芝浦港南地区版計画書策定に当たり、各課から推薦された職員で構成する「芝浦港南地区版計画書検討プロジェクトチーム」を立ち上げ、区民参画組織からの提言を踏まえた新規事業の企画・立案を検討しました。

●令和2(2020)年度

	開催日	概要
第1回 (※1)	令和2年 4月24日(金)	- 支所内の検討体制について - 芝浦港南地区版計画書の概要について - 芝浦港南地区総合支所が独自に取り組む地域事業について
第2回 (※2)	令和2年 5月22日(金) 5月26日(火)	「6年後を見据えた地域コミュニティにおける課題」の共有 - 地域コミュニティにおける課題について - 課題整理と取り組むべき課題の選定について
第3回	令和2年 6月12日(金)	- 他自治体における類似先行事業の共有 - 新規事業立案に向けた方向性の検討
第4回	令和2年 7月3日(金)	- 新規事業立案に向けた所管担当者へのヒアリング結果について - 新規事業立案のブラッシュアップについて
第5回	令和2年 7月22日(水)	- 第2回芝浦港南地区版計画書検討委員会・作業部会の報告 - 芝浦港南地区版計画書検討プロジェクトチーム振り返り

※1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面会議にて実施しました。

※2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から人数を制限し、2グループに分けて実施しました。

②芝浦港南地区版計画書検討委員会・作業部会

総合支所長及び各課長で構成する「芝浦港南地区版計画書検討委員会」と、地域事業を担当する係長級で構成する「芝浦港南地区版計画書作業部会」の合同による、「芝浦港南地区版計画書検討委員会・作業部会」を設置しました。

●令和2(2020)年度

	開催日	概要
第1回 (※)	令和2年 5月14日(木)	- 支所内の検討体制について - 地域事業の方向性について - 区民参画組織からの提言への反映の方向性について
第2回	令和2年 7月21日(火)	- 現行地域事業の方向性(案)について - 芝浦港南地区の将来像及び体系(案)について - 次期地区版計画書策定に向けた新規事業の提案について
第3回	令和2年 8月28日(金)	- 地区版計画書の体系(案)について - 地域事業(案)について
第4回	令和2年 10月7日(水)	地区版計画書(素案)について
第5回 (※)	令和3年 1月19日(火)	芝浦港南地区版計画書(案)について

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、書面会議にて実施しました。

(3) 芝浦港南地区版計画書に関する区民意識調査

- 調査対象 港区芝浦港南地区内に住民登録する満 18 歳以上の男女
- 調査対象数 1,500 標本
- 対象の抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- 調査方法 郵送配布・郵送回収
- 調査期間 令和元(2019)年6月21日(金)～7月12日(金)
- 回収数 411 件
- 回収率 27.7%
- 調査項目

- ・ご自身について(性別、年齢、職業、居住地域、定住意向等)
- ・芝浦港南地区の事業について(地域事業の知名度・満足度・重要度・参加意欲等)
- ・地域の魅力や課題について(地域の課題、芝浦港南地区の魅力・そのための取組)
- ・芝浦港南地区総合支所について(情報取得手段)
- ・芝浦港南地区版計画書について(地区版計画書の認知度、地区版計画検討分科会の認知度)
- ・ご近所づきあい、地域活動について(近所づきあい・交流、地域事業への参加意向、地域活動等へ参加しない理由)



芝浦港南地区版計画書に関する
区民意識調査報告書

(4) 区民説明会及び区民意見募集

①説明会の日時・場所

日 時	場 所
令和2年11月15日(日) 午前10時～	港南区民協働スペース
令和2年11月18日(水) 午後7時～	芝浦区民協働スペース
令和2年11月21日(土) 午後2時30分～	台場区民センター

②区民意見募集期間(パブリックコメント)

令和2(2020)年11月11日(水)～12月11日(金)

2 港区基本計画・芝浦港南地区版計画書策定に向けた提言

港区基本計画・芝浦港南地区版計画書は、区民参画組織からの提言を踏まえて策定しました。各分野に対する提言と計画全般に係る提言、合わせて15の提言をいただきました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた意見を基に、事業の実施に当たっては、「新しい生活様式」や「3つの密（密閉・密集・密接）の回避」の徹底等による感染防止対策を講じます。

■水辺に関すること

No.	提言	提言理由
1	昼夜を問わず誰もが安心して散歩することのできる運河沿いの遊歩道を実現する	芝浦港南地区は海辺や運河があり水辺環境に恵まれたまちですが、水辺に対して肯定的な印象があまり持たれていません。 そのため、水辺の良さを再認識してもらうために、運河沿いの遊歩道を活用しながら、住民及び来訪者が運河を楽しみ、運河に親しみ、身近に感じてもらえるような取組を提案します。
2	運河の魅力を高め、身近に感じてもらうイベントを実施する	

■環境に関すること

No.	提言	提言理由
3	自然を生かし、自然に触れ合える継続性のある取組を実施する	芝浦港南地区は公園整備や商業・業務施設の建設による植栽地整備により緑被率が増加していますが、他地区と比較すると緑被率が低い状況です。都心では自然とふれあう機会も少ないことから、住民が年間をとおして自然にふれあうことのできる取組を提案します。
4	地域の企業や住民などの多様な主体の参加を一層促し、美化活動を推進する	また、駅前など中心部にはごみのポイ捨てが多いことから、マナーの徹底とともに地域の企業や住民などの多様な主体が美化活動に参加することで、美しいまち芝浦港南地区の実現に向けた取組を提案します。

提言の反映内容

運河の魅力向上の推進

運河沿いの遊歩道を整備するほか、来訪者が運河に親しみをもてる事業を実施します。
また、昼夜も安心して運河を散歩できるよう安全・安心や身近に親しんでもらえる観点からも橋りよう等のライトアップの実施・発信を行うことにより、運河のイメージアップを図ります。

水辺のまちサーキュラーLAB.

多様な主体（企業や大学等）との連携により、運河と文化芸術を融合した取組や運河に関する啓発活動を行うことで、運河への愛着や関心を深めます。

提言の反映内容

バイエリアみどりでつなぐプロジェクト

芝浦公園の田んぼでの田植えや稲刈り体験等、区民が自然とふれあう機会を更に創出するほか、自然を身近に感じ、子どもたちに自然を大切に思う心を育むための事業を実施します。

環境美化の推進

美化意識の向上とともに、参加者や参加企業等が親睦を深めることができる交流の機会を創出し、参加を継続できるような仕組みをつくりまします。

■地域の安全・安心に関すること

No.	提言	提言理由
5	災害時における情報コンテンツや情報伝達手段の認知度を向上させる	芝浦港南地区では防災に関する取組が多いものの、防災に関する情報が住民に十分伝わっていない状況にあります。また、運河沿いの治安面やマナーに不安を感じる住民も多くいます。 そこで、いかなる環境においても安心して暮らせるまちをめざし、情報伝達手段の認知度向上、防災知識向上の機会拡充、災害時の連携強化、運河沿いの治安向上に資する取組の拡充を提案します。
6	企業等と連携し、災害時に助け合える体制をつくる	
7	楽しく気軽に防災の知識や備えについて学べる機会を充実させる	
8	運河沿いの治安面の改善や自転車利用者のマナーの向上に資する取組を検討する	

■地域コミュニティに関すること

No.	提言	提言理由
9	区有施設等で活動する様々なコミュニティをわかりやすく紹介する	芝浦港南地区には、芝浦・海岸、港南、台場の3つの地域コミュニティがあり、ファミリー層が多いのが特徴です。一方で、地域の町会・自治会などの地域コミュニティは参加者の固定化・高齢化が見られ、ファミリー層を巻き込んだコミュニティ形成が十分に取れていないのが現状です。そこで、地域内交流の促進に向け、地域のコミュニティに関する情報発信の手法を再検討し、誰もが参加したくなるような仕掛けの構築を提案します。
10	地域のイベント等について、多様な広報媒体を活用した積極的かつ効果的な情報発信を行う	
11	様々な人が気軽に交流できるような場を提供する	

提言の反映内容	
→	防災課等他部署と連携し、窓口の周知だけではなく、区ホームページ等も活用して、防災に関する情報提供を積極的に発信していきます。
→	バイエリア防災リンク事業 災害時に来訪者等が安全・安心に過ごせるよう、協定を結んだ地域の事業者等と連携して、定期的に連絡会を開催し災害時に助け合える関係を創出します。
→	バイエリア防災リンク事業 事業者等と連携し、防災週間などに楽しみながら防災の知識や備えについて学べる取組を実施します。
→	ルール・マナーの啓発活動の推進 地域の警察署等と連携して、自転車のマナー向上・啓発に向けた取組を実施します。

提言の反映内容	
→	区有施設における地域コミュニティの紹介等をしていきます。また、施設のホームページ等で区有施設で活動する地域団体を紹介するなど、更なる地域コミュニティの参加者を増やす取組を実施します。
→	芝浦港南地区内で行われるイベントに関する情報を、新たに芝浦港南地区総合支所で始めたTwitterで発信するほか、区ホームページや地区情報誌等を通して積極的に情報発信します。
→	みなとパーク芝浦ふれあい交流事業 港区最大規模の複合施設である「みなとパーク芝浦」や、令和2年度に開館した伝統文化交流館を地域のコミュニティスペースとして活用します。また、区内の事業者や団体、伝統文化に関する活動をする方と連携したイベント等を開催することで、人でのびのび場所となるよう事業を実施します。

■地域の魅力に関すること

No.	提言	提言理由
12	既存の地域資源を活用しつつ、新たな芝浦港南地区ならではの魅力を発掘し、内外に発信する	芝浦港南地区には歴史的に浅い地域ということもあり、文化的資源はあまり多くありません。台場地域の来訪者が他の地域には流れてこないという課題もあります。 また、既存の文化・歴史・産業といった地域資源や、芝浦港南地区の魅力については地区内外に知られていません。そのことから、地の利や既存の地域資源を生かした魅力を地区内の企業等と連携し、効果的な発信方法の検討などを提案します。
13	企業や他自治体との連携を進めながら、芝浦港南地区の魅力を発信する	

■福祉に関すること

No.	提言	提言理由
14	芝浦港南地区に将来も住み続けたいようになるように、子どもから高齢者まで多様な世代が交流できる場をつくる	芝浦港南地区の人口は、今後も全ての世代で増加が続き、令和8年には64,000人※を超える見込みです。しかし、核家族化に伴い地域の支え合いや住民間の交流が少なくなっています。 また、子育て支援は充実しているものの、支援制度を知らないなど情報の格差を感じます。 芝浦港南地区に将来も住み続けたいようになるようなまちの実現に向けて、従来の情報発信の在り方を見直すとともに、幅広い世代が交流できるような仕組みや交流の場づくりを提案します。
15	福祉に関する情報を「人」の体験を通して伝えるなど、情報発信の方法を再検討する	

※提言書提出時点の人口想定の見込みです。

提言の反映内容	
→	SKDs 学びのまちプロジェクト 芝浦港南地区にある文化・歴史・産業といった地域資源等を講座を通じて学ぶことで、地域活動やボランティア活動を担う人材の育成を支援し、地区の魅力を効果的に発信します。
→	歴史と文化がつなぐ地域交流事業 秋田県にかほ市との交流をより充実させるため、新たな連携方法を模索するとともに、相互連携を強化します。 SKDs 学びのまちプロジェクト 企業や大学等と連携し、地域について学ぶ講座やワークショップの実施を通じて芝浦港南地区の魅力を発信していきます。

提言の反映内容	
→	地域での支え合いの充実 高齢者セーフティネットワーク事業において、高齢者と子どもとのふれあいの場を創出します。また、地域の魅力やコミュニティを紹介した冊子、ちらしの配布や掲示などを通じて、転入者も含め区民が地域に愛着を持ち、多様な世代が集まる地域コミュニティに参加してもらえるよう啓発活動を行います。
→	子育てあんしんプロジェクト 育児等に関する情報提供の方法として、今後は体験談も交えて効果的かつ効率的な情報発信を行います。



港区基本計画・芝浦港南地区版計画書
策定に向けた提言書

港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちも真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つ子どもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持することを求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、心から平和の願いをこめて港区が平和都市であることを宣言します。

昭和 60 年 8 月 15 日

港 区

区 の 木



ハナミズキ

区 の 花



アジサイ



バラ



港区のマークは、昭和24年7月30日に制定しました。旧芝・麻布・赤坂の3区を一丸とし、その象徴として港区の頭文字である「み」を力強く、図案化したものです。

▶ 表紙の写真



お台場海浜公園

刊行物発行番号 2020216-2435

港区基本計画 芝浦港南地区版計画書

令和3(2021)年3月発行

発行・編集：港区芝浦港南地区総合支所協働推進課

港区芝浦一丁目16番1号

TEL 03-3456-4151（代表）

FAX 03-5445-4590

<https://www.city.minato.tokyo.jp>





港区芝浦港南地区総合支所

MINATO CITY SHIBAURA-KONAN REGIONAL CITY OFFICE